

DT471-J1

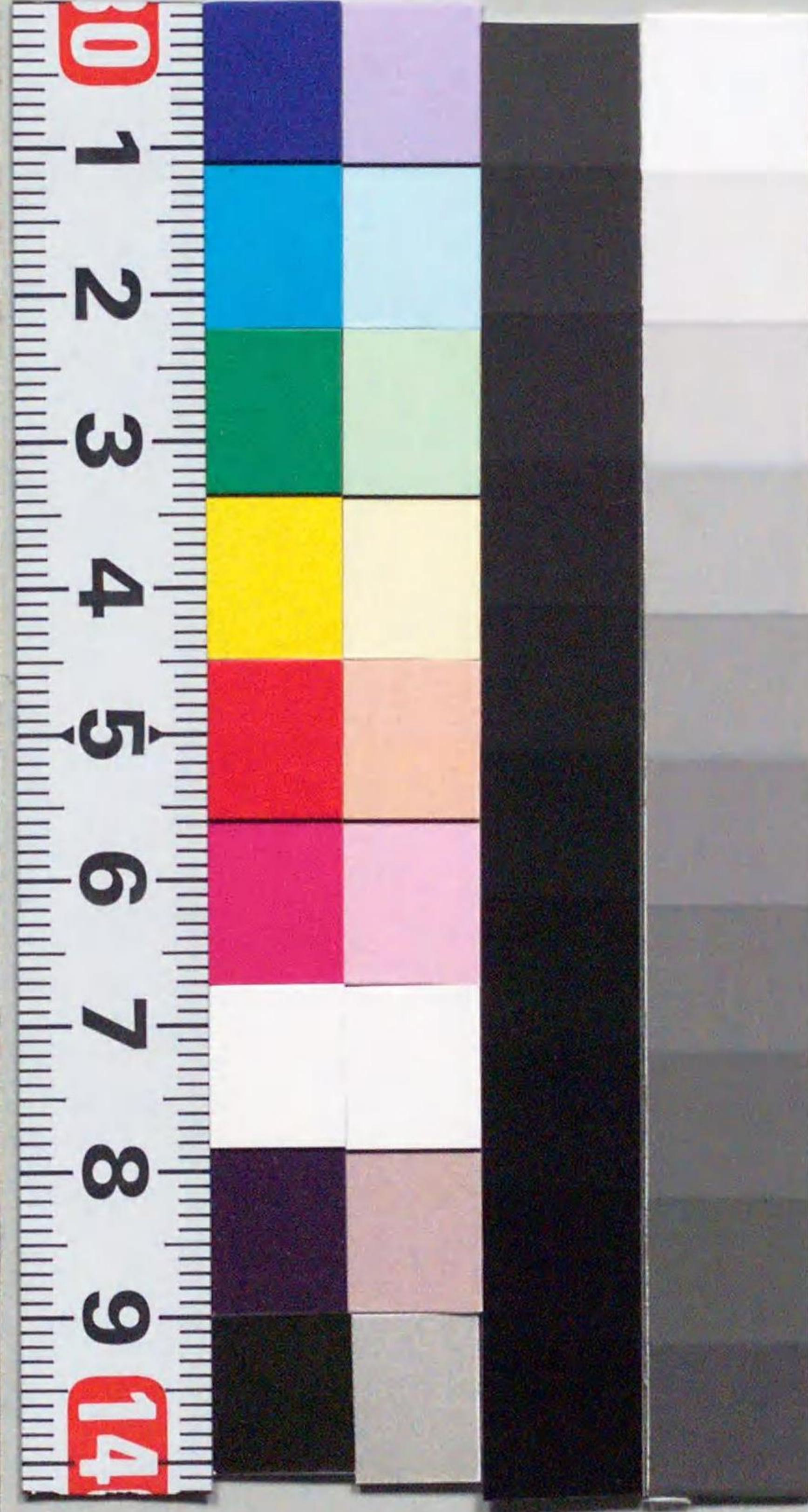


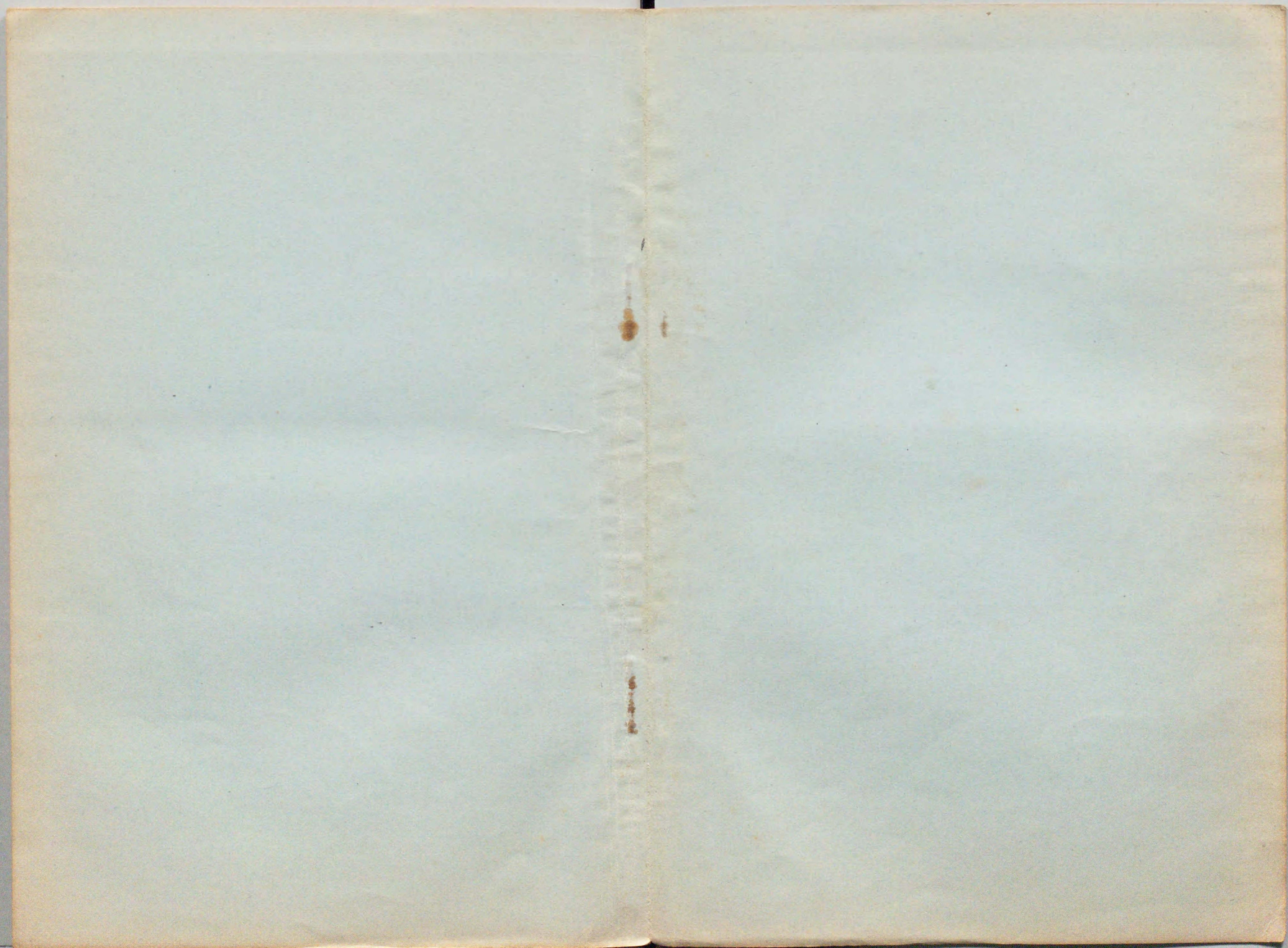
\*1200901401321\*

昭和九年三月

神奈川の畜産

神奈川縣





神奈川の畜産

神  
奈  
川  
縣

DT471

J1

神奈川県の畜産



I種  
W



\*1200901401321\*

### 緒言

本縣に於ける畜産業に關する沿革、現況事業の概要を上梓し、過去を偲び現在に徴し將來に資せむとす。素より渺たる小冊子能く之を詳にす能ずと雖、内に當業者碎礪自奮の資となり、外に本縣畜産業の紹介者たるを得ば本書刊行の主旨以て足れりとなす。

昭和九年三月

神奈川縣内務部農務課

# 神奈川の畜産

## 目次

### 第一 總 說

- (一) 位置、地勢及氣候…………… 一
- (二) 産業關係土地面積及人口…………… 一
- (三) 産業上より見たる本縣の畜産…………… 二

### 第二 畜産の沿革

- (一) 畜牛の沿革…………… 三
- (二) 馬匹の沿革…………… 五
- (三) 養豚の沿革…………… 七
- (四) 豚肉加工の沿革…………… 八
- (五) 養鶏の沿革…………… 一〇

### 第三 畜産の現況

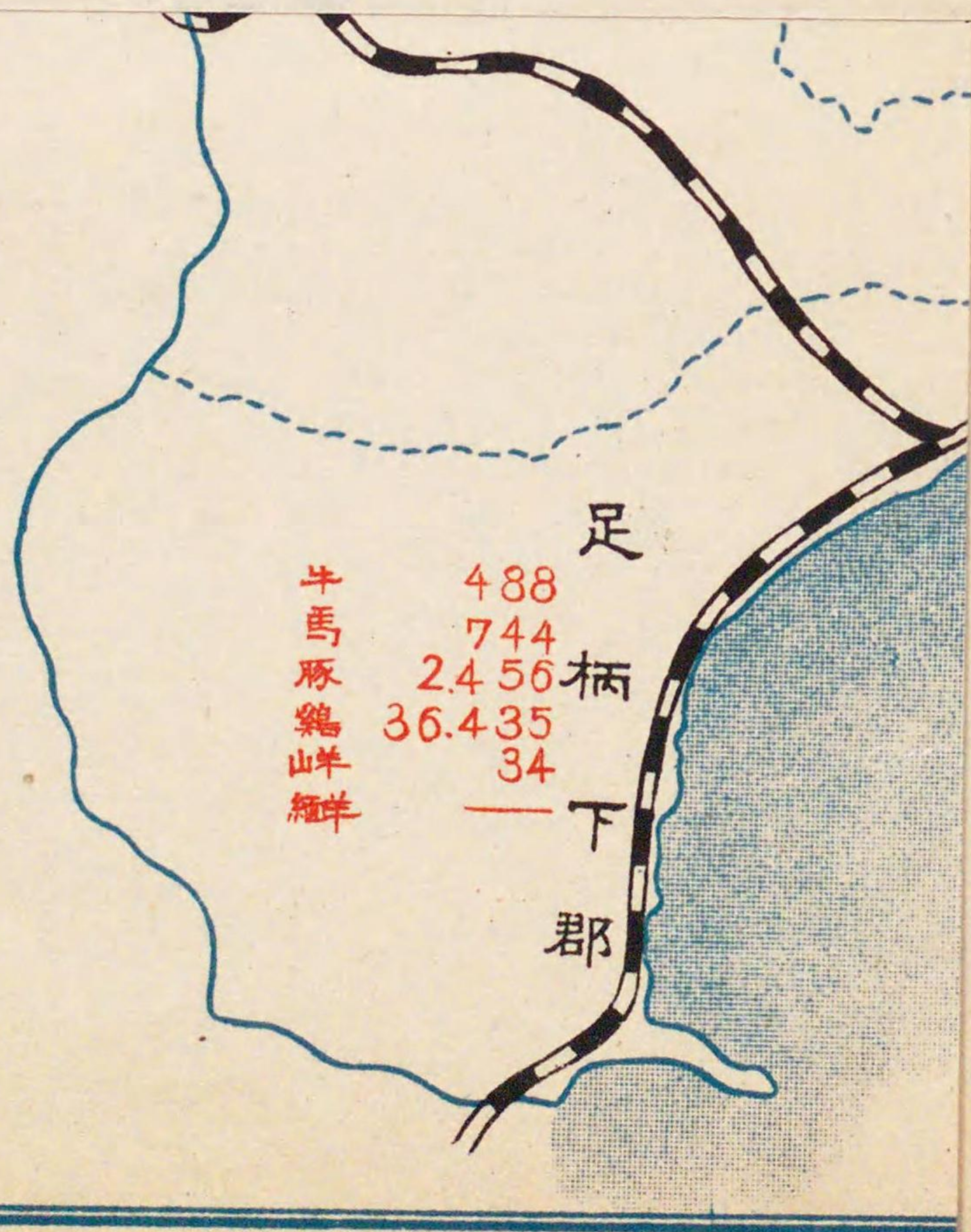
(一)	畜牛	(イ) 乳牛	(ロ) 役肉牛	(ハ) 種牡牛	二
(二)	馬	.....	.....	.....	三
(三)	豚	.....	.....	.....	四
(四)	緬羊及山羊	.....	.....	.....	五
(五)	鶏及鶩	.....	.....	.....	六
第四 畜産物加工の現況					
(一)	牛乳及乳製品	.....	.....	.....	七
(二)	肉製品及屠畜	.....	.....	.....	八
第五 畜産奨励方針					
(一)	乳	牛	.....	.....	九
(二)	役	牛	.....	.....	〇
(三)	馬	匹	.....	.....	〇
(四)	養	豚	.....	.....	二
(五)	養	鶏	.....	.....	二

(六)	緬羊及山羊	.....	.....	.....	三
第六 畜産に関する縣の施設					
(一)	技術員の設置	.....	.....	.....	三
(二)	本廳に於ける事務概略	.....	.....	.....	三
(三)	種畜場	.....	.....	.....	三
第七 畜産に関する団体					
(一)	畜産団体	.....	.....	.....	四
(二)	屠場	.....	.....	.....	七
(三)	畜産加工場其他	.....	.....	.....	六
第八 畜産に関する諸統計					
第一表	民有々租地及牛馬耕反別郡市別表	.....	.....	.....	三
第二表	農産關係生産總額累年比較表	.....	.....	.....	三
第三表	家畜累年比較表	.....	.....	.....	四
第四表	家畜累年増減率	.....	.....	.....	六

第五表	郡市別家畜頭數表	.....	三
第六表	農家戸數及耕地に對する主要家畜郡市別表	.....	四
第七表	種牡牛累年移動表	.....	四
第八表	郡市別種牡牛頭數表	.....	四
第九表	畜牛累年移動表	.....	四
第一〇表	畜牛郡市別表	.....	四
第一一表	馬匹累年移動表	.....	四
第一二表	馬匹郡市別表	.....	四
第一三表	種牡馬累年移動表	.....	四
第一四表	豚の累年移動表	.....	四
第一五表	豚の郡市別表	.....	四
第一六表	緬羊の累年移動表	.....	四
第一七表	緬羊の郡市別表	.....	四
第一八表	山羊累年移動表	.....	四
第一九表	山羊郡市別表	.....	四

第二〇表	鶏の累年移動表	.....	六
第二一表	鶏の郡市別表	.....	六
第二二表	鶯の累年移動表	.....	六
第二三表	鶯の郡市別表	.....	六
第二四表	牛乳生産累年比較表	.....	六
第二五表	牛乳生産郡市別表	.....	六
第二六表	乳製品累年比較表	.....	六
第二七表	乳製品生産額郡市別表	.....	六
第二八表	肉製品生産累年比較表	.....	六
第二九表	肉製品郡市別生産表	.....	六
第三〇表	成牛、犢、馬別屠殺頭數肉量及一頭價額累年比較表	.....	六
第三一表	豚、緬羊、山羊別屠殺頭數肉量價額累年比較表	.....	六
第三二表	獸醫師、蹄鐵工、家畜業者累年移動表	.....	六
第三三表	馬匹去勢累年比較表	.....	六
第三四表	畜牛結核病検査成績累年表	.....	六

靜岡縣



第三五表 畜牛結核病検査郡市別累年表 ..... 六

第三六表 昭和六年末に於ける全國府縣家畜頭數表 ..... 七

第三七表 道府縣主要家畜割合表(昭和六年末現在) ..... 九



# 神奈川県畜産

(昭和七年末)

東京府



山梨県

静岡県

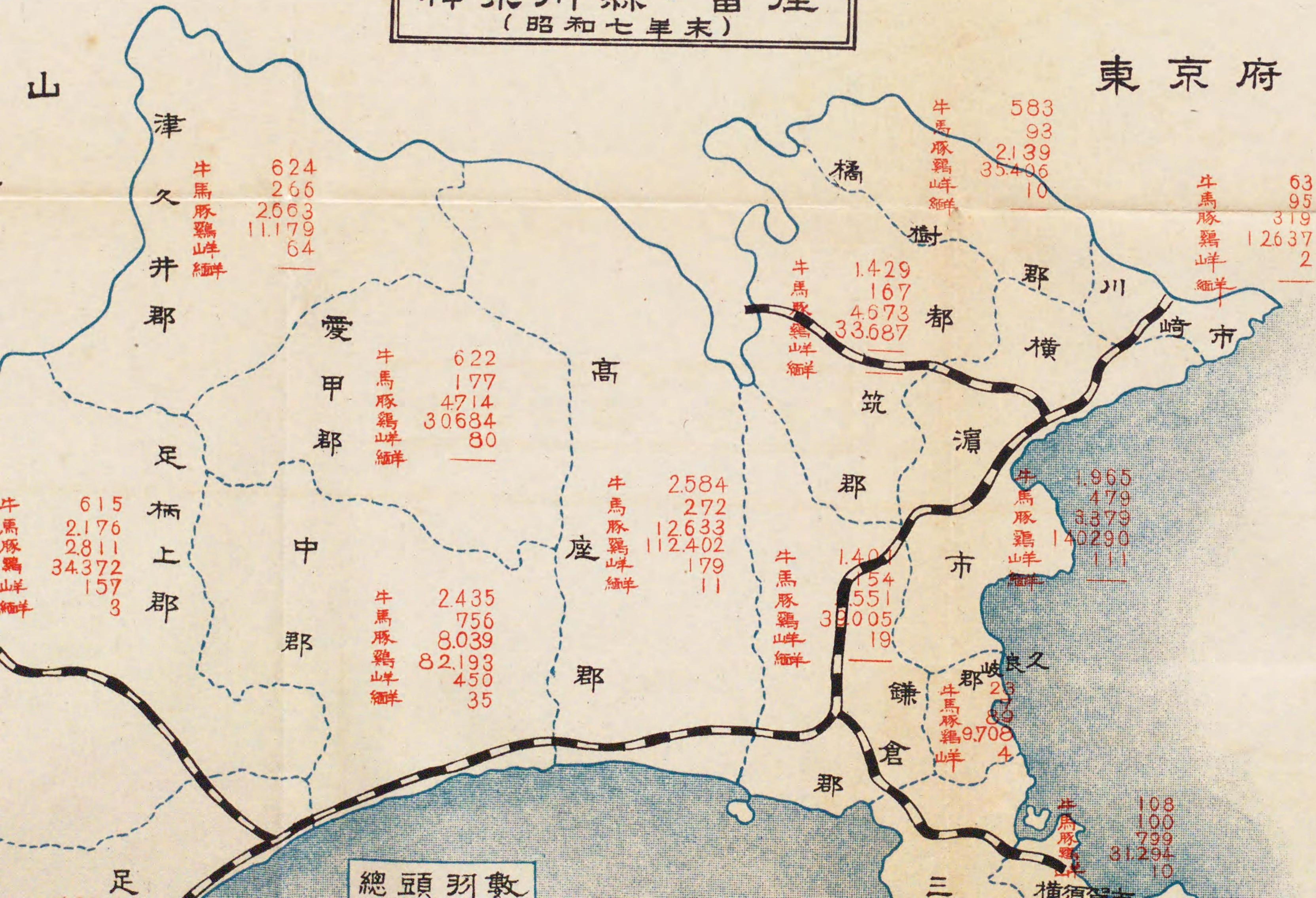


總頭羽數

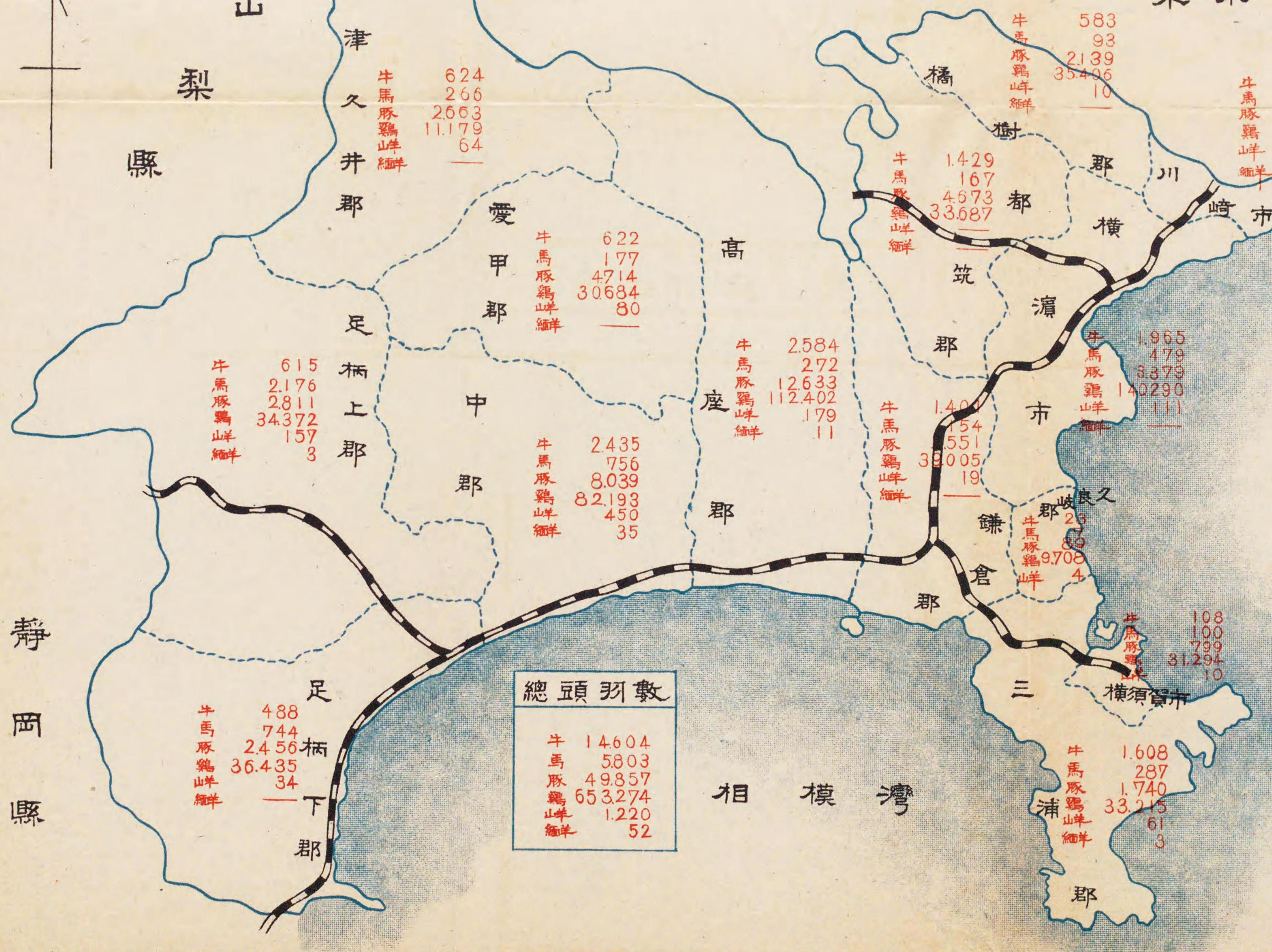
# 神奈川県畜産

(昭和七年末)

東京府



總頭羽數



總頭羽數	
牛	14,604
馬	5,803
豚	49,857
鶏	653,274
山羊	1,220
細羊	52

梨縣

静岡縣

相模灣

津久井郡

愛甲郡

足柄上郡

中郡

高

座

郡

橋

樹

都

郡

川

崎市

筑

濱

郡

市

鎌

倉

郡

又良

郡

三

横須賀市

浦

郡

624  
266  
2,663  
11,179  
64

622  
177  
4,714  
30,684  
80

615  
2,176  
2,811  
34,372  
157  
3

2,435  
756  
8,039  
82,193  
450  
35

2,584  
272  
12,633  
112,402  
179  
11

1,401  
154  
551  
39,005  
19

1,965  
479  
3,379  
140,290  
111

23  
89  
9,708  
4

108  
100  
799  
31,294  
10

488  
744  
2,456  
36,435  
34

1,608  
287  
1,740  
33,215  
61  
3

583  
93  
2,139  
35,406  
10

1,429  
167  
4,673  
33,687



牛馬豚鶏山羊  
624  
266  
2663  
11179  
64

牛馬豚鶏山羊  
583  
93  
2139  
35406  
10

牛馬豚鶏山羊  
63  
95  
319  
12637  
2

愛甲郡  
牛馬豚鶏山羊  
622  
177  
4714  
30684  
80

高座郡  
牛馬豚鶏山羊  
2584  
272  
12633  
112402  
179  
11

中郡  
牛馬豚鶏山羊  
2435  
756  
8039  
82193  
450  
35

橋樹郡  
牛馬豚鶏山羊  
1429  
167  
4673  
33687

横濱市  
牛馬豚鶏山羊  
1965  
479  
3379  
140290  
111

鎌倉郡  
牛馬豚鶏山羊  
1404  
154  
551  
39005  
19

久良岐郡  
牛馬豚鶏山羊  
23  
75  
89  
9708  
4

横須賀市  
牛馬豚鶏山羊  
108  
100  
799  
31294  
10

三浦郡  
牛馬豚鶏山羊  
1608  
287  
1740  
33215  
61  
3

總頭羽數	
牛	14604
馬	5803
豚	49857
鶏	653274
山羊	1220
細羊	52

相模湾

## 第一 總 說

### (一) 位置、地勢及氣候

本縣は武藏の二市三郡及相模一圓を統轄し、東北は多摩川を隔て、東京府に接し地勢概ね平坦田畑克く展げ沿海部に横濱市及川崎市の兩市を有し人家稠密にして本縣の中樞の地たり。西北は山梨縣に境し道志山脈相連亘して峻岳深谿相錯り部落其間に點在し、西南は足柄箱根の群峯に據りて靜岡縣に界す。而して相模酒匂の兩川は源を其の間に發し南流海に近づくに隨て平野次第に闢け人家相接し耕地遠く聯れり。南は三浦半島突出し相模灣に臨み東京灣を隔て、房總半島と相對す、行政上之を區劃して四市十一郡とす。其の地積一五二方里あり地域廣からずと雖氣候概して温暖にして雨量割合多く地味肥え各種農業及畜産に好適せり。

### (二) 産業關係土地面積及人口

本縣の總面積二〇六、一四七町二、之の内耕地面積六八、八一三町あり、田二一、七〇二町一、畑四七、一〇町九、にして總面積に對し三割三分強に當る、山林は二割八歩強なり。今民有々租地一六一、七八四町九、に對する各種目別割合を示せば田一三・八%、畑三〇・五%、宅地六・三%、山林三六・一%、池沼〇・二%、原野一二・四%、其他〇・七%にして民有々租地中山林最も廣く畑之れに次ぎ田は一割強なり。

然して本縣は比較的平坦の地多し、雖牛馬耕作反別割合僅く八・七〇九町六、にして耕作反別に對し一割強に過ぎず。

二

本縣の總世帯數は三二七、〇五九戸、人口一、六六四、〇二九人、農家戸數七七、六二六戸にして農家戸數の總世帯數に對する割合は三割三步強に相當す。農家一戸に對する耕地面積は八反八畝強にして其の大部分は所謂小農組織を以て經營せり。

(三) 産業上より見たる本縣の畜産

第二表に示す如く昭和六年末に於ける本縣の農産關係生産總額は三億八千二百六十七萬六千圓餘にして、其の内工業生産額三億三千餘萬圓の多額に達し實に生産總額の八割強に達す。

次に農産、蠶糸、畜産、水産及林産の生産總價額は五千餘萬圓にして、之等原始産業生産額の百分率は農産四三・九%、蠶糸一八・四%、畜産一四・九%、水産一九・三%、林産三・五%の順にして、畜産の生産價額は之等農産關係中第四位に相當す。雖、表示せる如く大正三年以來年々其の増額を示し、今や我が農村の窮狀に訴へ農業の革新に有畜農業の普及を圖り、畜産をして一層生産化せしめるは本縣畜産進展上極めて緊急の狀態にありと觀るべく、殊に本縣は東京、横濱其他大消費地を抱擁し將來益々發達の域にありと言ふべし。

## 第二 畜産の沿革

(一) 畜牛の沿革

「日本馬政史の一項に清和天皇貞觀年代より後冷泉天皇治曆年代の頃足柄上郡牛島、班目兩村の附近に高野牛馬牧の所轄されるに至り四、五才の牛を毎年牧長引卒して左右馬寮に進貢したり」と是を以て本縣畜牛の沿革を惟思するに難く、今此處に横濱史項に懸る「乳牛牧場の始祖」の一端を記し其の沿革に換へん。爾來横濱は人烟稀疎なる一魚村たりしが安政六年横濱開港さる、や、我が海外貿易漸次隆盛に及び來朝外人逐次増加を來せり。之の當時横濱に乳牛を飼養する者なく彼等の日常生活に尠ならず不便を與へしに際し。時恰も文久年間に渡來せし米人「デー、ビー、シモンズ」及び米國長老派宣教師「ジェー、レー、ヘボン」博士、其他米國婦人傳道師「ジュリアクロスビー」女史等舉りて是れが指導獎勵に努め、其の後明治初年に至り外人在留者の増加に日本人等の牛乳及其の製品を使用するに至り、煉乳、牛酪の如き乳製品の需要を相伴つて牛乳及び乳製品が滋養品として亦營養飲料として家庭の必需品に成るに至れり。

即當時上總國長生郡岡村の農前田留吉なる者、其の頃蒔田橋附近に屠牛場を設置したる和蘭人「スネール」に雇れ乳牛飼養の傍ら牛乳搾取を見習ひ、慶應二年八月太田町八丁目(現在山下町所在加賀署附近)

に牧場を設け房州牛六頭を購入し始めて牛乳搾取業を開始せり。是れ恐らく本縣に於ける牛乳搾取業の嚆矢ならん。是より先徳川幕府の末期三河の人中川嘉兵衛なるもの米人醫師「シモンズ」に認められ傭人となり、後牛乳の需要増加するの機を觀て洲干の辨天祠附近に搾乳場を設け外人に牛乳を供給せり。其後中川に師事せし青木重三郎は横濱に牛乳販賣業を營み相當の財を起せり。

斯くして横濱に於ける牛乳の需要漸く普及するに至り、牛乳搾取販賣業者續出せり。其の當時に於ける牛舎は貧弱なるものにして、高さ九尺位の堀立小屋に菰圍を施し丸太杭に乳牛を繋ぐが如く頗る簡單なるものにして、種類は概ね長角牛の雜種に屬し價格一五、六圓、一日の搾乳量約三斤前後、牛乳の市價二合に付二朱（約十二錢五厘）位なりと、其の後明治六、七年の頃英人「アラン、オートン」は山下町九八番地に米國產長角種（デボン系雜種）の乳牛三十餘頭を輸入し外國人相手の牛乳搾取業を開始せり。明治六年時の大久保内務卿は勸業寮をして銳意畜産の發達獎勵に盡力し、本縣當局も其の趣旨を休し斯業の助長に努め、翌七年三浦郡西浦若命信義なる者戸部御所山に牧畜會社を創設し、政府の補助を受け米國より輸入の短角牛數頭を購入し牛乳一合三錢五厘を以つて販賣せり。其の頃英人「オーストン」は「デボン」系乳牛數十頭を輸入し、初め根岸不動坂上に稍々大規模の搾乳場を設け（後東京小石川老松町細川邸内の牧場に移り）専ら居留外國人に供給せり。

斯の如く横濱に於ける乳牛の品種は初め房州牛、南部牛若しくは大島牛を飼養せしが、後年外人等の手

を経て長角牛種及び短角牛種の輸入あり。次で「エアシャー」種系及び「ホルスタイン」種系輸入せられ漸次品種の改善を來たし、縣に於ては明治四十年縣立農事試験場に畜産部を設置し乳牛或は役肉牛の品種改良に努め、後大正九年試験場より畜産部を分離し縣立種畜場の設立と共に種牡牛を充實し之が改善に努めたり。斯くして品種は殆んど「ホルスタイン」種系に統一せられるに至れり。

牛乳搾取業逐次發達するや、横濱及其他の都市に於ける搾乳業者が乳牛を農家に預托し農家に其の乳牛を飼養なさしめたるに機を得、農家に於ける乳牛飼養者逐次増加し、反つて農家に於て飼育せる乳牛を搾乳業者に隨時貸牛として供給するに至れり。斯くして大正八、九年中郡吾妻村に中村畜産株式會社設立せられ附近の農家より牛乳を購入し、次で平塚市に森永、守山兩工場の設置せられるに至り、一層農家に於ける乳牛飼養増加し更に縣内樞要地九ヶ所に亘る牛乳處理場設立せられるや乳牛の普及愈々徹底し農業の傍ら牛乳搾取を副業とす者續出し、本縣に於ける農乳の發達は實に長足の進歩を成すに至れり。

(二) 馬の沿革

本縣に於ける産馬の沿革は其の史蹟漠として記述に徴する由なしと雖、藤原時代清和天皇貞觀年代より後冷泉天皇治暦年代の頃現在の都筑郡新治村、川和町附近に延喜式中の牧中左右馬寮の直轄御牧たる立野牧ありて、毎年九月十日其の國の國司牧監若くは別當と共に牧場に臨み檢印し、之を帳簿に登録し四

才以上の駒にして用に堪ゆるものは調良して翌年八月牧監等に附して武藏の國の貢上馬五十頭の一部を負擔進貢せり。亦兵部省の所轄諸國牧に足柄上郡牛島、班目兩村附近に高野牛馬牧あり、五・六才の馬を毎年牧長引卒して左右馬寮に進貢したり。唱へり。尙前記立野牧は延喜九年十月一日勅旨牧となり益々産馬に貢獻せり。

其の後天下泰平の世になるに及び馬産は一時衰勢の域にありたるも鎌倉時代に至り、武藏七黨の一部は縣下牧場を根據として勃興し現時足柄上下兩郡中郡、愛甲郡及三浦郡地方に農馬の育成比較的多くなりたるも此の時代の風習に慣ひたるものを見るを得べし。後源氏に次いで北條氏立つに及び政策に大なる變遷なかりしが爲關東地方は大體に於て平靜を保ち、馬事關係も亦大なる影響を被むらざりしもの、如し。然るに北條氏滅し足利氏興るや天下の中心京師に走り遂に織田氏を経て徳川氏に至り、愈々世は泰平久しきに及び牧地次第に開墾せられ馬産は遂に衰に傾き單に山嶽地帯の草生地比較的多き足柄上下及中郡の一部に其の影を留め其の他の地方は専ら農馬の育成使役を行ふに至れり。の斯く如して明治の中葉何等特筆すべき變化なく年々百餘頭の農馬を生産して、本縣内需要の一部を充したるに過ぎざりき。

次て日清戰役後馬の改良朝野の間に喧しかりし時澁澤榮一氏(後子爵)其他知名の有志發起の下に箱根仙石原の地をトし牧馬事業を企圖し事業に著手せられしも實現幾年ならずして經營不結果に終りたれば

爾來本縣内に於て團体的牧馬事業其の跡を絶ち産駒逐年減少の傾向を呈し、明治下葉以降生産頭數二、三百頭となり更に大正時代に至り其の數百頭代となり大正四年の百五十頭を最高に益々其の減少を示すに至れり。

### (三) 養豚の沿革

我が帝國の肉食史がペルリの渡來米艦來航以來より始まりたりとせば本縣に於ける養豚事業の起源及發達史は實に本邦内地に於ける重要な史蹟ならざるべからず。殊に傳統的に肉食を禁ぜられたる時代に於て力役用ならざる豚は之れが飼養絶無(沖繩等を除き)なりしは當然なるべし。後年我が横濱市西戸部(當時久良岐郡)に飼養せられたる所謂谷頭豚は當時外人が持ち來り蕃殖せしめたるものにして本縣養豚業の起源を爲せり。之等の蕃殖豚は外人に需要せられしが在住外人の増加に伴ひ漸次飼養區域擴張し明治二十五年頃に至り縣下各地に飼養せられ豚肉加工業の發展と相俟て各地農家の副業養豚を爲すに至れり。

而して本縣に於て養豚の品種改良に着手せしは明治三十八年頃にして、當時縣立農事試驗場に「ヨークシャー」及「パークシャー」種の種豚を設置し仔豚の配付を爲し、次いで明治四十年頃畜産部設置せられ更に之れが充實を期し、大正九年畜産部を分離し種畜場の設置せらるゝと共に斯業の發達に努め亦民間に於ても種豚改良に扶養するもの大なるあり、就中大正三年八月橋樹郡旭村西寺尾に岩崎輝彌氏經營



の子安農園設置せられ原産地英國より優良種豚を輸入し廣く全國に種豚を供給するに至り本縣豚改良上にも大なる貢獻をなせるは顯著なる事實なり。

斯くして一面共進會の開催は與つて力ありと言ふべく其の始め明治四十三年縣は縣立平塚農學校に第一回養豚共進會を開催し品種改良の第一步を劃し、爾來品評會、共進會を開催し、或は獎勵金を交付し又博覽會に出品して彼此研鑽する等克く品種の改良に努め當業者の自覺を奮起に依り今日の發達を見るに至れり。

#### (四) 豚肉加工の沿革

本縣に於ける豚肉加工の創始は横濱開港以來外人の居住に因るもの、如し。

即ち明治五、六年頃鎌倉郡川上村下柏尾に在住せる英人「ウイリアム、カーテス」なるもの「ホテル」業を經營中偶々同十一年十一月頃肉豚一頭を購入し「ハム」及び「ベーコン」を製造し自家用に供せし外横濱在留外人間に販賣せるを、當時乳牛管理者として雇れたる齋藤角治氏は將來本業の頗る有爲なるを觀、屢々之が製造を試み技術の修得に努め、同村齋藤滿平、益田直藏氏等に諮り、明治十四、五年頃益田直藏と共に之が製造に着手せり。亦相前後して齋藤滿平及滿太の父子も本業の製造を開始し、次いで明治二十六、七年益田直藏、齋藤角治の兩氏各獨立して本業を經營するに至れり。

當初の「ハム」及「ベーコン」は冬期僅かに三、四ヶ月の短期間に製造せられ無包装の儘販賣せられたるも

のにして明治二十一年頃漸く包装を成すに至り、従つて品質も漸次改良せられ外國品に劣らざるものを製せり。其の後明治三十二年大船町富岡周藏氏大船驛に於て「サンドウィッチ」を發賣せるより、翌三十三年自家用として「ハム」の製造に着手し、其の後三十八年頃に至り岡部福松氏合名會社藤岡商會を設立する外、中和田村に清水桃太郎、横濱市山下町に田中清吉氏、同町高橋清吉氏等「ハム」製造業者相次いで起り、販賣並製造法に一段の進歩を來したるも、當時尙夏期の製造を許さず、甚だ不備の状態にありしが、明治三十六年頃より冷蔵庫の使用に着眼し、之が研究を進め、明治四十二年頃より始めて四季を通じ製造せられ本業に一躍の進歩發展を期せり。

而して明治四十年五月戸塚町に資本金百萬圓を以つて日本ハム製造株式會社設立せられ、荻野芳藏氏社長となり、齋藤滿平及滿太、益田直藏、齋藤角治氏等同會社に加入せり。従つて多くの製品は同會社の統一する處となり、而して同年十一月京濱間に於ける販賣業者相糾合して、横濱市岡野町に資本金五十萬圓を以つて鎌倉ハム製造株式會社を設立せり。然共其の經營日淺く、明治四十三年日本ハム製造株式會社の買収する處となり、斯くして一大會社の成立を見、本業の發展に一大の氣鋭を投じたるも業成らずして明治四十五年遂に解散するに至れり。

茲に於て齋藤氏等再び本業の經營を開始し、同業者を結合して鎌倉ハム組合を設け、仕入、販賣等を協調し品質の改良統一に努め斯業の發達に盡力せり。斯くして日を追ひ、機を得、鎌倉ハムの名聲愈々高

く、遠くは滿洲國、中華民國、印度及南洋諸島等に輸出し、内地に於ては横須賀、吳及佐世保の各海軍々需部に納入する肉製品は年々十數萬疋に及び、一方我が國民の食肉嗜好の激増と共に、本縣に於ける豚肉加工業は益々發達し、其の年額百五十五萬圓の多額に上り、本邦に於ける「ハム」及「ソーセージ」其の他豚肉加工總生産額の約八割を占めるに至れり。

(五) 養鶏の沿革

本邦に於ける鶏の起原に就いては既に神代より飼養せられしを傳へられるも、後年鎌倉時代に至り其の當時の僧侶は鶏を「おかいこさん」と稱し盛に食用に供せしむ史述に遺るものあり。雖、是等は未だ畜産の部門に達せず。其の多くは時刻を知り或は娛樂に供せし物の如し。而して一度横濱開港せられ外國貿易夙に進展し、經濟思想の發達と共に養鶏の經濟的飼養進められるに及び、一般農家の副業或は養鶏專業者起るに至れり。其の當時に於ける一般飼養狀況詳ならざるも、本縣に外國種の輸入せられたるは明治二十年頃にして、其の當時加山勘兵衛氏により英國産金色「セブライトバンダム」種始めて輸入せられ、次いで明治二十二年頃小泉氏により白色「ランシヤン」田島錢松氏により黒色「ハンバード」種輸入せられ、明治三十六年木村文太郎氏により米國産胡桃冠「プリマスロツク」米國産「アメリカンドミニツク」等輸入せられ、後木村重太郎氏により「パートトリツチワイアンドツト」「ロード・アイランド、レッド」白色「ミノルカ」其の外松本兵武氏により「サルダン」等の多くの外國種輸入せられた

り。我國に於ける單冠白色「レグホーン」種は明治二十年貴族院議員五十嵐敬止氏に依り始めて輸入せられたるものなり。本縣に於て養鶏事業の獎勵に着手せしは明治四十年にして當時畜産部には多くの外國種鶏を飼養し之が試験ニ駄鶏の淘汰に努め一般農家の飼養法の改善或は專業者の合理的經營を促し品種も單冠白色「レグホーン」種の飼養せられるに至れり。

第三 畜産の現況

(一) 畜牛の現況

第三表に示す如く昭和七年末に於ける本縣の畜牛飼養總頭數一萬四千六百餘頭にして大正三年に於ける八千餘頭に比し遙に増加せり。今本縣に於ける總頭數を全國の平均に比較せば次の如し。

全國ノ平均	人口千人ニ對スル頭數	土地千ヘクタールニ對スル頭數	農家百戸ニ對スル頭數	耕地一ヘクタールニ對スル頭數	總頭數ヨリ見タル位
神奈川縣	二三、一四	三九、五六	二六、八四	〇、二六	三二
八、六九	七〇、七八	一八、六四	〇、二一		

(4) 乳牛

前述の如く本縣の畜牛飼養頭數一萬四千六百餘頭中乳用牛五千餘頭にして全國中第九位にあり。第七表

牛乳生産郡市別表（昭和七年末）に示す如く農家の飼養頭数は二千八百餘頭にして乳牛の過半数に達し、搾乳業者の飼養頭數二千二百六十餘頭なり。而して是れが飼養戸數は農家七百五十五戸、搾乳專業者百六十五戸なり。近時乳汁の需要著しく激増し、牛乳販路の確立に相伴つて農家に於ける乳牛の飼養者益々増加し農乳の發達愈々盛なる傾向にあり。昭和八年末調査に依るに乳用牛の飼養頭數五千六百餘頭を突破し、農家の飼養頭數二千九百頭の多數に昇れり。

品種は前章に述べたる如く殆ど「ホルスタイン」種及其の雜種に統一せられ「エアジャー」種「ゼルシ」種及「ゲルンヂイ」種等は極めて尠なし「ホルスタイン」種の外貌は縣並に當業者の改良促進に依り漸次其の体型を調へ泌乳量も亦著しく増加せり。

(ロ) 役 肉 牛

從來役畜は馬匹を使用し役牛を以て僅に三浦郡地方に南部牛移入せられ耕作作用及其の一部を馱載用として使用せられたるも大正八、九年頃財界好況に際し勞銀高騰し之が緩和の目的を以て三浦郡及橘樹郡を中心に兵庫、三重及大分縣等より當才和牛の大量購入を行ひ畜力利用殊に輓曳に使用せしめ其の成績見るべきものあり。次で朝鮮牛の飼養獎勵の結果各郡農會或は畜産組合等擧つて共同購入し逐次其の數を増加せり。斯くして畜牛に依る犁耕獎勵を行ふに及び朝鮮牛益々盛なり其の頭數八千九百餘頭を數へ、和牛は僅に四百頭内外に止れり。朝鮮牛の多くは輓曳用に使役せらるゝも近時耕作作業に使役せら

るゝもの著しく増加しつゝあり。之等の畜牛は主として原產地或は他府縣より購入せられ本縣に於て生産するものは年々百餘頭に過ぎず。

本縣に於ける肉牛の供給は津久井郡に於ける乳用系幼牝牛の肥育の外僅に高座郡北部及三浦郡の一部に於て部分的に行はれ其の數及質に於て甚だ不振の状態にありたるも昭和八年一月畜産組合聯合會主催第一回畜牛肥育講習會を開催し畜牛の肥育を獎勵せし以來廢用後之を肥育し亦肥育を副業とする者あり、其の成績良好にして益々好成绩を納めつゝあり。

(ハ) 種 牡 牛

本縣に於ける種牝牛は主として「ホルスタイン」種にして百頭中九拾五頭に及ぶ、其の所有別を示すに私有最も多く八十二頭にして、之等の多くは搾乳營業者たり。團體有は中郡畜産組合所有六頭、搾乳組合所有三頭、其他一頭にして縣有七頭なり。之を産地別に示すに第八表に於ける如く縣内産最も多く縣外産は千葉縣産のもの最も多數なり。

(ニ) 馬

第十一表に示す如く大正三年に於ける本縣の馬匹飼養頭數九千三百餘頭にして、其の生産百餘頭に及びたるも、運搬業の動力利用發達に大正八、九年頃より朝鮮牛の移入せられるに至り、馬の飼養者逐次衰頹し昭和七年末に於て其の總頭數五千八百餘頭に減少し生産僅に十六頭を示すに過ぎず。然して縣に於

ては是れが挽回に努め役馬共同購入獎勵並役馬共進會、犁耕傳習會犁耕競技會等を開催し、馬事思想の普及宣傳に努めたる結果最近漸く其の發達の徴を示し、昭和八年末に於ける總頭數六千五百餘頭に増加し、加ふるに近時競馬法の改正並地方競馬規則の改正に相俟つて産馬熱著るしく熱況を極め本縣に於ける競走用馬は約三百頭を數へらるゝに至る。而して本縣に於ける馬匹の利用は主として農用に供するもの多く三千頭以上に達し、荷馬車用之に亞ぎ主として運搬用に供用せらる。前述の如く本縣の生産實に微々たるも牝馬頭數比較的多く過半数に達す。然れども地勢は之が生産の好適地尠なく縣下の種牡馬は七頭に過ぎずして内、國有種牡馬二頭なり。本縣の馬匹は縣外、主として東北諸縣より移入せられつゝあり。

(三) 豚

第十四表に示す如く大正三年末に於ける本縣の飼養頭數は一萬九千餘頭にして、生産頭數千四百内外なりしが、縣は大正七年以來養豚事業の組織的發達を計劃し町村を區域とする養豚組合の設置を獎勵し、種豚を配付し品種の改良に努め其の堅實なる發達を期せり。品種は殆んど「ヨークシャー」種に統一せられ其の資質の優良なるは全國に知られ種豚として各府縣に移出せられるもの毎年二千頭に及べり。斯くして昭和八年末に於ける縣下の飼養頭數五萬餘頭に達し生産頭數四萬頭を稱せらる。昭和六年末に於ける全國の平均に比較する次の如し。

全國平均	人口一千人ニ對スル頭數	土地千ヘクタールニ對スル頭數	農家百戸ニ對スル頭數	耕地一ヘクタールニ對スル頭數	總頭數ヨリ見タル位
神奈川縣	二八・九三	二四・七八	一六・八一	〇・一六	六

昭和七年末に於ける本縣の豚屠殺頭數は實に十萬七千餘頭の多數に達し之が過半数は縣外より移入しつゝありて尙生産増加の餘地あるを以て本縣の養豚業は將來益々盛況なるべし。

(四) 綿羊及山羊

本縣に於ける綿羊は未だ普及するに至らず。始め足柄下郡益田農場及橘樹郡の子安農園に於て飼養したるも其の業振はず、後年中郡北秦野村及東秦野村に綿羊組合を設立し種羊場より拂下を受け近くは同郡秦野町及高座郡小出村に於ても種羊場及北海道より拂下を受けて飼養し亦各綿羊組合に於ても種牡綿羊の貸付を受け改良増殖に努めたり。雖も第十六表に示す如く昭和七年末に於ける飼養頭數僅に五十二頭に過ぎず。而して飼養區域は第十七表に示す如く縣内の一部に限局され、地方的に有望視せられる状態にあり、縣に於ても之が獎勵に努めつゝあり。

山羊は其の飼養起原明かならざるも乳用或は愛玩用として古くより飼養せられたるもの、如く第十八に示す如く大正三年頃其の飼養頭數四百餘頭なるに逐次増加の傾向を示し昭和七年末に於ける飼養頭數

一千二百餘頭に達し全國中第十五位にあり。主として自家搾乳用に供せられ乳牛の發達に伴ふ牛乳需要普及されるに従ひ亦山羊乳の發達も起因せるもの見らるべし。

(五) 鶏 及 鶩

第二〇表に示す如く昭和七年末に於ける本縣の飼養總羽數は成鶏七十萬餘羽、雛二十四萬餘羽にして、其の飼養戸數約五萬戸に達し農家一戸當り八・一五羽に相當す、之等の飼養者は横濱及其他の市街地附近の一部に專業者あるも多くは農家の副業に屬し十羽未満の飼養者三萬八千以上に達す。別表に示す如く本縣の總戸數と農家戸數に對する飼養戸數の比を見るに農家戸數に對する比遙に大にして六割強に達す。

最 高	總戸數百戸ニ對スル飼養戸數		最 底	農家百戸ニ對スル飼養戸數	
	平 均	神奈川縣		平 均	神奈川縣
六三、五〇(鹿兒島)	一六、六七	六三、五〇(鹿兒島)	九三、七七(千葉)	一六、六七	九三、七七(千葉)
四、七九(東京)	二七、二四	四、七九(東京)	九、八四(福井)	二七、二四	九、八四(福井)
二七、二四	一六、六七	二七、二四	五八、八〇	一六、六七	五八、八〇
一六、六七	一六、六七	一六、六七	六五、六一	一六、六七	六五、六一

る好況を示し、多年の計劃たりし孵化事業の完成を期し委託孵化並に雛の大量生産配布を爲しつゝ、あり。

縣に於ても從來養鶏の副業を目標とし、組合を設立せしめ組織的に奨励し、縣の種畜場に於ては養鶏に關する各種の試験を行ひ優良種鶏、雛、種卵の拂下を成し駄鶏の淘汰をなし産卵鶏の進出を圖りつゝ、あり。近時異常なる進歩を來し三百卵の好記録續出す

本縣に於ける鶩の飼養羽數は第二二表に示す如く其の飼養羽數年々變化する處なく四千餘羽を有し全國中第十九位にして養鶏の普及と共に地方的に有利なる副業なり。

第四 畜産物並加工の現況

(一) 牛乳及乳製品

第二十四表に示す如く大正三年末に於ける牛乳生産額は搾乳營業者及農家を合し年額八千七百餘石に過ぎざりしが牛乳需要増加と乳牛飼養普及に依り逐次搾乳高の増加を示し、昭和七年末に於ける搾乳營業者一ヶ年の搾乳量三萬五千四百四十五石、農家搾乳量一萬六千八百三十三石合計五萬二千二百七十八石の多額に昇り、殊に農家に於ける搾乳額大正十二年末の四千四百五十八石の約三倍強に達し、其の搾乳する者九百五十餘戸にして近時自家搾乳の聲高まり今後益々増加の傾向を示せり。

而して本縣に於て搾乳されたる牛乳の販路は區々にして正然たらざるも、昭和八年に於ける販路を一日量に示す農家に於て搾乳される乳量凡そ五十石と稱され其の内東京方面に搬出されるもの約七十石、縣内の守山、森永等の工場に於て加工品に消費されるもの約二十石餘、其他生乳として取扱れるもの約二十餘石にして、搾乳營業者に於て搾取されたる牛乳の販路は其の大半横濱市乳として消費され約六十石に及び郡部の生乳として消費されるもの約五十石、其他東京方面に搬出されるもの十石餘にして、一日

の搾乳量百二十石前後に及び、之等搾乳業者の残乳は川崎の明治、鶴見の森永等の製菓工場に於て使用されることあり。斯の如く本縣に於て搾乳消費される乳量は一日約百五十石前後なり。

乳製品は主として煉乳及バターにして其の他コーヒー牛乳、グリコ牛乳及製菓等にして、昭和七年末に於ける乳製品總額は三十七萬一千數百圓に達し、主として平塚市森永及守山の兩工場に於て製造せらる。尙乳製品に非ざるも本縣に於ては人造バターの製造盛にして其の生産額八萬五千圓に達せり。

(二) 肉製品及屠畜

第二十八表に示す如く本縣の主なる畜産加工品は「ハム」にして所謂「鎌倉ハム」の名聲を博しつゝあり。昭和七年末の「ハム」の生産額は六十七萬四千數百圓に達し、「ベーコン」其の他の加工品を合し年額實に百九萬一千數百圓に及び全國第一位にあり。之等畜産加工品の販路は全國に亘り海外輸出も漸次開拓せられ其の需要年々増加の現況にあり頗る有望なる事業たり。

各家畜屠殺數表

種類	頭數	肉量	價額
成牛	六、七三六頭	四五〇、一九九 <small>圓</small>	四八六、八六五 <small>圓</small>
犢	七五〇	四、六七三	一四、四九二
馬	一、七九八	七四、四八四	八二、七五四
豚	一〇七、六七七	一、六六〇、一〇〇	二、七二六、九二四
山羊	一四七	六四四	一、三五一

而して本縣に於ける昭和七年末各家畜屠殺數を示す次の如くにして、之等の屠畜は

何れも其の過半数を縣外より移入し尙濠洲、ブラジル方面より年々約百十九萬頭頭の牛肉を移入しつゝ、あり更に濠洲、加奈陀より一萬三千八百頭頭の羊肉の輸入あり之等の大部分は東京、横濱の兩市並に横須賀海軍に於て消費せらる。

第五 畜産獎勵方針

農家に於ける家畜の飼養が其の生産に依る収益を目的とする外、畜力利用を以て勞力費の低減を圖り自給肥料を以て金肥の節約と地力の増進を完からしめ、有畜農業の趣旨を徹底し農業經營の一大革新を圖るが最大の急務なりとし、本縣に於ては此の有畜農業の經營は着々として其の實績を擧げつゝ、あり將來更に之れを普及擴充せんことを。而して本縣の畜産の現況は前述せる如く昭和七年末に於て農家百戸に對し畜牛一八・二頭、馬七・四頭、豚六〇・八頭、成鶏八一五・〇羽にして亦耕地百町歩に對する家畜頭數は畜牛二一・〇頭、馬八・三頭、豚七二・六四頭、成鶏八九六・二羽にして、農家に於ける家畜飼養戸數の僅少なるは勿論耕地面積に對する家畜頭數著るしく少數なるを遺憾とし、縣に於ては別項の如き獎勵方針に基き各家畜の資質の改善を圖り能力を増長し、一方飼養頭數並飼養戸數の増加を促し以て畜産と農業の堅實なる結合發達を期せんことを。

(一) 乳用牛

本縣の乳牛は前述の如く主として「ホルスタイン」種及其の雜種にして之れが資質の改良自給飼料の生産、厩肥利用、牛乳生産費の低減等に努め又各種共同施設の下に生産牛乳の販路を確立し、乳用牛飼養好適地に於ける農家に對し他の産業との調和を考慮し自家搾乳を奨励し以て更に酪農事業の發達を期せんことをす。

(二) 役 肉 牛

畜牛肥育法講習會、講話會、肥育競技會等を開催し肥育の趣旨を徹底し、共同施設に依る肥育を促進し、一方改良和種或は朝鮮牛の一定年齢使役後又は乳牛の廢用後之れが肥育を奨励す。

(三) 馬 匹

本縣馬匹奨励方針は役馬利用を主とし、育成並生産は副す。鞍馬は現在數を目標となし資質の改良並經營方法の改善を圖り、農馬は其の利用増進の爲各種作業に對する講習講話會、傳習會、競技會を開催する。他幼駒共同購入により優良馬の育成飼養に努め傍ら頭數の増加を圖り、生産は地域を足柄上、下及中の三郡地方の山嶽地帯にして馬産に適せる地に定め産馬方針は馬の持久力に重点を置き其の体格は中等体尺者の使用に適せしむるを標準とし小格鞍馬の多數を生産するを以て主眼とす。又京濱の大都市を控ゆる本縣は地方競馬の健全なる施行に依り馬事思想の普及發達並に其の收得金に依る馬事施設を一層有効適切ならしめんことをす。

(四) 養 豚

品種は「ヨークシャー」種を以て統一し各農家を通じ副業として一、二頭の飼養を奨励し飼養戸數の増加を以つて増産を圖り、本縣養豚業の堅實を促し、一般飼養家に對しては肉用の目的を以て飼養せしめ成績優秀なるものに對しては特に種豚供給の目的を以つて品種の改善蕃殖を勧め、縣に於ては昭和九年度よりは種牡豚検査を施行し更に品種の改善を期し以て益々優良種の普及を圖らんことをす。

(五) 養 鶏

市街地附近の一部に專業養鶏家あるも縣は毎戸飼養を奨め農家に於ける副業的養鶏家を増加し、一方縣種畜場に於ける優良品種の種鶏及種卵雛の大量生産を成し、駄鶏の淘汰を圖り共同施設に依る鶏肉卵の共同處理、販賣、斡旋をなし或は飼料の共同購入等事業の合理的經營法の促進を期せんことをす。

(六) 緬羊及山羊

緬羊及山羊の飼養頭數僅にして養鶏及養豚の如く普遍的ならず。雖も土地の狀況により合的飼養法を普及し農家の副業に奨励す。

第六 畜産に關する縣の施設概要

(一) 技術員の設置

(1) 本廳勤務職員

地方農林技師 二名

技手 三名

農林技手 三名

農林主事補 一名

畜牛結核病検査員 三名

同助手 二名

(ロ) 種畜場勤務職員

地方農林技師 一名

農林技手 二名

農林主事補 一名

農業助手 二名

(二) 本廳に於ける事務概略

1 種牝牛検査

2 種牝牛改良獎勵

3 種牡馬検査

4 役馬改良並利用獎勵

- 5 馬匹去勢
- 6 地方競馬
- 7 農家搾乳指導獎勵
- 8 畜牛結核病検査
- 6 養豚獎勵
- 10 養鶏獎勵
- 11 緬羊獎勵
- 12 家畜保險
- 13 各郡市畜産組合
- 14 獸醫師、蹄鐵工
- 15 牛馬商、豚商
- 16 家畜家禽共進會品評會講話會
- 17 有畜農業獎勵
- 其他

(三) 種畜場 横濱市保土ヶ谷區保土ヶ谷町所在

事業概略 (大正九年縣立農事試驗場より畜産部を分離し種畜場設立さる)

(1) 種畜、種禽 (昭和九年一月現在)

- 種牝牛 ホルスタイン種 六頭
- 全改良和種 一頭
- 種牝牛 ホルスタイン種 四頭
- 種牝豚 ヨークシャー種 四頭
- 種牝豚 全 二三頭



種禽鶏 二五六羽

(ロ) 事業の概要

- 1 種畜種禽の繁殖育成
- 2 種畜種禽種卵及牧草種子の配付
- 3 種畜の種付並受托育成
- 4 飼料に関する試験並調査
- 5 畜産及畜産工業に関する調査並試験
- 6 講習、講話並實地指導
- 7 共進會、品評會、審査
- 8 家畜、家禽、の衛生事項
- 9 業務成績報告書の参考配付
- 10 畜産に関する特に必要と認めたる事項

第七 畜産に関する団体

(一) 畜産団体

(イ) 縣區域によるもの

組合名	設立年月日	事務所所在地	區域	組合員種類	組合員數	組合長氏名
神奈川縣畜産組合聯合會	大正二、四、二、三	神奈川縣廳內	神奈川縣廳內	組合法ニヨル	八	横山助成
神奈川縣養鶏組合聯合會	昭和三、四	神奈川縣廳農務課內	神奈川縣廳農務課內		五六	古川靜夫
神奈川縣牛馬豚商組合聯合會	昭和六	神奈川縣廳內	神奈川縣廳內		一六	吉武輝人

(ロ) 郡區域によるもの

畜産組合並家畜保險組合名	設立年月日	事務所所在地	區域	組合員種類	組合員數	組合長氏名	
樹橋郡川崎市畜産組合	大正四、一、七	川崎市中原町上小田中一七六三	橋樹郡川崎市	牛、馬、豚飼養者	組合法ニヨル	二、三六	白井佐吉
三横畜産組合	四、一、七	横須賀市公郷町二三七五	三浦郡横須賀市一圓	牛馬羊豚飼養者	全	二、一五	小山定吉
鎌倉郡畜産組合	四、五、七	鎌倉郡戸塚町戸塚二區一七	同郡一圓	牛馬羊豚飼養者	全	二、八〇	小串清一
高座郡畜産組合	四、二、八	高座郡藤澤町藤澤五九〇七	全	牛及馬ノ飼養者	全	一、二四	木内惣四郎
中郡畜産組合	三、一、八	中郡大磯町九九二	全	牛羊豚飼養者及馬生産者	全	五、〇六	河野一郎
足柄上郡畜産組合	三、一〇、一〇	足柄上郡松田町松田惣領二〇九	全	牛豚ノ飼養者及馬ノ生産者	全	一、二四	藤澤政雄
足柄下郡畜産組合	三、一〇、一〇	足柄下郡小田原町幸一丁目二一	全	牛ノ飼養者及馬ノ生産者	全	二、四	小川方成

愛甲郡畜産組合	明治 三、四、二	愛甲郡厚木町二	全	牛ノ飼養者及馬ノ生 産者	全	三六	石川 要
都筑郡畜産組合	昭和 二、二〇、五	都筑郡川和町川	全	牛馬豚飼養者	全	二、九六	山田 喜作
横濱畜産組合	大正 七、二〇、	横濱市中區日技 町四丁目九七	横濱市、久良 岐郡橋樹郡ノ 一部	乳牛ヲ飼育シテ搾乳 シ又ハ搾乳セシムル ヲ營業トスルモノ	全	〇	澁谷 光賢
中家畜保險組合	昭和 五、七、	中郡大磯町元郡 役所内	中郡一圓	牛馬飼養者	全	五〇	石井 博

(ハ) 其他の団体

- 社団法人日本レスクラブ 明治三九年創立、横濱市中區根岸町箕澤一八二
- 横濱乗馬俱樂部 大正一〇年三月創立、横濱市中村町字西ノ谷四四五
- 牛馬豚商組合 一九
- 養豚組合 一二〇
- 養鶏組合 五〇
- 畜牛組合 一三
- 緬羊組合 五
- 有畜農業に關する組合 三〇

(二) 屠場

屠場名	經營別	許可又ハ 讓受年月日	位置	取扱フ家畜ノ 種類	屠場主名
横濱屠場	横濱畜産興業株式會社	明治四、四	横濱市井土ヶ谷町	牛、馬、犢、羊、豚	島崎一郎
横須賀屠場	市營	全	横須賀市公郷	全	三上丈太郎
戸塚屠場	横濱畜産興業株式會社	大正一四、二	鎌倉郡豊田村	豚	島崎一郎
高橋屠場	個	明治四、四	高座郡上溝町	牛、馬、犢、羊、豚	高橋喜一郎
平塚屠場	畜産組合	昭和五、六	中郡大野村	牛、馬、犢、羊、豚	河野一郎
小田原屠場	全	明治四、四	足柄下郡小田原町	全	長谷川良輔
松田屠場	全	昭和三、一〇	足柄上郡松田町	全	城所源助
藤澤屠場	個	明治四、四	高座郡藤澤町	豚	尾島隆利
厚木屠場	全	全	愛甲郡厚木町	牛、馬、犢、羊、豚	武井由藏
中央屠場	全	全	津久井郡中野町	全	波多野元正
橋屠場	畜産組合	全	橋樹郡橋村	全	白井佐吉

(三) 畜産加工工場其他

- (イ) 豚肉加工製造者の主なるもの
- 鎌倉郡川上村 齋藤滿太

- 全 岡部 福藏
- 全 益田 直藏
- 鎌倉郡小坂村 富岡 周造
- 横濱市平沼町 明治食料品會社
- 横濱市元町 大木 市藏
- (ロ) 牛乳共同處理場
- 中郡高部屋村 相模牛乳處理場
- 中郡南秦野村 秦野牛乳處理場
- 中郡吾妻村 二宮牛乳處理場
- 足柄下郡仙石原村 仙石原牛乳處理場
- 愛甲郡厚木町 厚木牛乳處理場
- 高座郡海老名村 國分牛乳處理場
- 平塚市 森永牛乳處理場
- 平塚市 守山牛乳處理場
- 横濱市南吉田町 横濱牛乳共同販賣所

- (ハ) 横濱市保土谷町 森永ミルクプラント
- 横濱市子安町 明治ミルクプラント
- 牛乳加工場の主なるもの
- 平塚市 森永製菓株式會社平塚工場
- 横濱市鶴見町 全 鶴見工場
- 平塚市 株式會社守山商會
- (ニ) 畜産關係臓器製藥業
- 川崎市南河原 帝國臓器製藥會社
- (ホ) 獸醫師 蹄鐵工
- 開業獸醫師 四三人
- 開業蹄鐵工 九三人
- (ヘ) (詳細は三三二表参照)
- 法律規則による検査其他の業務
- 畜牛結核病検査 一ヶ年五千四百頭 (畜牛結核病に關する統計は第三十四表及第三十五表にあり参照の事)

種牡馬検査

一〇頭

種牡牛検査  
 去勢猶豫馬匹検査  
 馬匹去勢

百三十頭  
 百五十頭  
 五十頭

第一表 民有々租地及牛馬耕反別郡市別表 (昭和六年末調)

郡市	牛馬耕反別							計
	田	畑	宅地	山林	牧場	原野	其他	
横濱市	一六六、二	二七七、九	二四八、九	三三五、四	—	一〇七、五	一三五、七	一〇三二、七
横須賀市	三六、九	三三、一	二四六、二	三二七、五	—	二、四	〇、二	六四五、三
川崎市	八二八、六	五〇六、六	四三六、六	五、五	—	一六二、五	一八三、三	一四八、三
久良岐郡	二五三、六	二五三、二	八四、五	一九六、一	—	二、八	二〇、一	一八二九、三
橘樹郡	一九四九、一	二二四、九	四四〇、五	一八八七、六	—	八八、九	七、八	六四八八、八
都筑郡	一九〇七、六	三八九、三	四八〇、八	五四七六、七	—	二〇五、三	五、六	一一九六七、三
三浦郡	一六二、一	二三四、〇	七九、二	四九七五、二	—	一九六、二	一五、四	九九二、一
鎌倉郡	一九〇、〇	三九〇、二	七四三、九	五一六五、三	—	二〇八、四	五、五	一一九二六、六
高座郡	三〇七六、〇	一三七一三、〇	一四三九、七	六三三四、一	—	三三九、〇	一三六、〇	二五〇一七、八
中郡	三五七八、八	七三五、一七	一三四九、六	四〇一八、二	—	二三四八、六	五六、二	一八六〇三、一
足柄上郡	二二二、七	三三三七、五	五〇三、八	一六〇二、四	—	四八八、二	八、二	二三四九一、八
足柄下郡	一八四三、五	二二九五、二	六四九、六	四五〇二、三	五七八、六	六八七、八	四七、一	一六八八七、九
愛甲郡	一四〇三、五	三七二〇、〇	三九七、三	七七三一、六	—	九四八、三	一、二	一四二〇一、九
津久井郡	一四、九	三〇一三、七	二八四、六	一〇二六、四	—	三九〇三、五	〇、二	八三五三、三
計	二二三三、三	四九三〇三、六	一〇三二八、二	五八五〇七、三	五七八、六	二〇一〇一、四	六二二、五	一六一七八四、九
								七四二、八
								一六六六、八
								八七〇九、六

第二表

農產關係生產總額累年比較表

年別	種別						計	戶數 戶當生 產額	人口 當生 產額
	農	蠶	畜	水	林	工			
大正三年	一九,九二四,三五八	五,一四四,七六九	二,一三一,八二九	三,九七八,三六三	一,二八八,〇九六	五七,八二七,五〇六	一	九〇,二九四,九二一	
四年	一八,一六五,九三七	五,〇四〇,六七二	二,六八〇,六六五	三,七四〇,三一一	一,一八八,〇三二	九五,六二六,二二七	二八	一二六,三七一,八六〇	
五年	二〇,〇五二,三七一〇	六,〇三三,四四四	三,九八三,七二六	三,七五八,七四九	一,〇一六,二七〇	一二八,〇〇七,〇四〇	三三六	一六七,二四九,三七〇	
六年	二四,七〇七,七四三一	六,八五五,九五五	四,七二一,七二三	三,九二四,四八四	一,四二八,四一一	一九七,六三六,六九二	三八四	二四三,〇一五,九三一	
七年	三九,五三三,三六四	六,八五五,八七七	六,二五三,九八一	四,九四六,二四六	二,四八八,四八四	三九九,九一四,六五四	五,六二六	四七二,二七二,三〇八	
八年	五八,五四四,〇八六	一五,二四四,七七一	八,一〇〇,七三〇	六,一三二,一六六	四,四二一,九五九	三二〇,三七七,〇七〇	八四七	四一七,二七二,六八〇	
九年	五六,五四一,三九八	一四,二五七,一〇	八,八八二,七六六	九,九七七,〇七二	三,三七三,二四八	三二七,一六九,六九四	四二六,八三八	四二一,五〇三,〇四四	
一〇年	四四,九一三,八七四	一〇,六四一,四六二	〇,九〇〇,五〇二	五,五五〇,七四三	三,一六二,二七五	二四九,七九四,九一八	—	三三七,五三〇,五二六	
二年	?	?	?	?	?	?	?	?	
二年	三九,四七七,九九六	三,五五六,六三五	八,九三二,三九一	四,〇六六,一六七	二,九六〇,八六〇	一六六,六三五,九〇九	四九二,五六三	二五二,二六二,三六九	
三年	四五,九二七,七〇五	九,九五四,二六四	九,〇一六,〇五二	一〇,六九九,一三二	二,〇一三,六六二	一六九,七六〇,二六一	七七九,八〇〇	二五九,五九,八七六	
四年	四四,三八六,八七九	〇,六八二,八八九	九,五七二,三七七	二,九一三,三四八	二,四九三,七三三	二二七,九五七,八二二	〇,八八,〇七二	三三一,八五八,五九一	
五年	三九,三三三,八八六	一八,八五三,二四七	八,四二二,五五〇	七,六八,七七〇	二,三一二,三四四	二九二,七二九,九一一	三五〇,九七〇	三七三,七七〇,五五八	
昭和元年	四〇,九二二,八四一	一七,四八三,二〇〇	八,七〇二,二三四	一〇,九四三,九四三	二,〇一六,二九三	三二二,八八八,七〇三	三九〇,七九〇	三九三,七五五,三三六	

三年	三五,四四八,三六〇	一八,六八六,八七〇	九,九七九,〇六八	一〇,二一七,九一三	一,九三三,七九五	三八三,六八九,三三二	一,八六三,三八六	四六二,八一七,三七八	一,五五九	三〇四
四年	三四,七四九,四七五	一八,五六〇,八一〇	一〇,七四七,四三二	一〇,四四〇,五三六	一,八九〇,四三三	四二七,八六四,一三六	二,九三三,三八六	五〇六,五四六,二〇七	一,六五〇	三二六
五年	二七,〇二四,三三九	一〇,八八四,八二〇	九,四二二,三六七	九,九四五,六九五	一,四九九,四七八	二九六,九八七,六一七	八二八,一八二	三五六,五九一,四九八	一,一二五	二二二
六年	二二,二八〇,二五五	九,三三九,七八八	八,四〇九,五二一	九,七九八,二四〇	一,二九三,九六七	三三〇,五〇二,八八一	一,〇四八,〇五九	三八二,六七六,六九八	一,一〇九	二二九

第三表 家畜累年比較表

年	牛	馬	豚	綿羊	山羊	鷄(成禽)	鶩(成禽)	蜜	蜂
大正三年	八、〇七八頭	九、三九六頭	一九、二三三頭	六頭	四三五頭	一九二、一三一羽	三、九一六羽		
全四年	八、一〇四	九、三七六	二〇、七八二	三	五二七	一九四、七二二	三、五九五		
全五年	七、八〇二	九、一三三	二〇、二四七	四三	六四四	二一三、四五六	三、三八三		
全六年	七、〇六九	九、一三四	二四、三五二	六六	四二三	二三〇、六八四	三、七四八		
全七年	六、八一	九、二四八	二四、六九五	八二	四四四	二三一、二六〇	三、三五〇		
全八年	六、七八九	九、二八八	二七、六七三	五〇	三八二	二二八、三四九	三、三九一		
全九年	八、四九四	九、三三〇	三六、八〇三	七六	五四〇	二三四、九七六	三、一五八		
全一〇年	九、三七七	七、一七九	三四、八四六	四七	四八五	二五六、〇九九	三、六七九		
全一一年	?	?	?	?	?	?	?		
全一二年	一〇、九七九	九、八四六	三九、八二三	七二	二九六	三〇八、〇三三	五、五三三		六四五
全一三年	一二、一七一	八、九〇八	四四、九二八	七八	六〇三	三三八、〇九四	四、三五九		五五二
全一四年	一三、七〇六	八、六六九	三七、九二二	四四	五六五	三四一、五三六	四、〇二三		五三八
全一五年	一四、七九三	七、一〇二	三四、五六一	五五	五五九	三六六、一七六	二、七四一		九六二
昭和元年	一四、四八五	七、四九一	三四、九四九	四七	五三三	四一〇、五二七	二、四〇四		一、〇〇三
全二年	一四、六八八	六、九一一	三六、七四二	五〇	七三〇	四四二、五八四	二、二八二		七五九
全三年									

全四年	一五、九四五	六、七二三	三三、七七四	四五	八〇一	四八三、九三八	三、二一八	八四八
全五年	一三、八六八	六、二三四	三七、四九六	三三	八二八	五四三、五〇五	二、八三三	一、〇七〇
全六年	一四、四七四	五、七七四	四七、二四四	五九	一、〇八四	六一六、八〇八	四、二五八	二、〇四五
全七年	一四、六〇四	五、八〇三	四九、八五七	五二	一、二二〇	七〇六、九八二	三、七八七	一、五二二

第四表 家畜累年増減率

年次	種別	牛	馬	豚	緬羊	山羊	鶏(成鶏)	鶯(成鶯)	蜜蜂
大正三年		100,00%	100,00%	100,00%	100,00%	100,00%	100,00%	100,00%	
四年		100,03	99,79	100,05	66,67	104,00	101,35	91,80	
五年		96,58	96,99	105,27	71,67	111,52	111,10	86,39	
六年		87,51	97,21	126,62	1,000,00	99,53	114,86	95,71	
七年		84,33	98,42	128,40	1,366,67	104,47	120,37	85,55	
八年		84,04	98,85	143,88	833,33	89,88	123,65	86,59	
九年		105,15	99,19	191,35	1,266,67	127,06	127,10	80,64	
一〇年		126,08	76,40	181,18	783,33	114,12	133,29	93,95	
全年		?	?	?	?	?	?	?	
一一年		137,38	104,79	207,06	1,200,00	69,65	160,33	141,29	
一二年		150,67	94,81	233,60	1,300,00	141,88	175,97	111,31	
一三年		169,67	92,26	197,17	733,33	133,94	177,76	102,73	
一四年		183,13	86,24	179,70	96,67	131,53	190,59	69,99	
一五年		179,32	79,73	181,71	783,33	125,18	223,67	61,39	
昭和二年		180,96	73,55	191,03	833,33	130,36	171,76	58,27	
三年									

全年	197,39	71,54	175,60	750,00	188,47	251,88	82,18	131,47
四年	171,68	66,24	194,96	550,00	199,53	282,88	71,83	165,89
五年	179,18	61,45	245,64	983,33	255,06	321,04	108,73	317,05
六年	180,79	61,76	259,23	866,67	287,06	367,97	96,71	234,42
七年								

第五表

郡市別家畜頭數表

(昭和七年末調)

鶏八八年六月末現在

郡市別	農家		耕作別		牛馬耕		畜		馬		豚		鶏		山羊		綿羊	
	戸數	反別	作反別	作反別	戸數	總頭數	戸數	總頭數	戸數	總頭數	戸數	總頭數	戸數	總頭數	戸數	總頭數	戸數	總頭數
横濱市	三、七四三	三、三五〇	二	八七三	一、九六五	二三八	四七九	六八八	三、三七九	三、一三六	一四〇	二九〇	八	二一	—	—	—	—
横須賀市	二二三	五七、八	—	一八	一〇八	六九	一〇〇	二八	七九	一、四二七	三、二九四	四	一〇	—	—	—	—	—
川崎市	一、二二一	九五八、二	—	三六	六三	三七	九五	二三	三三九	六五七	一二、六三七	一	二	—	—	—	—	—
平塚市	八二二	四三三、八	—	三五	五六	二五	三〇	三五二	八五二	六四一	一〇、七六七	—	—	—	—	—	—	—
久良岐郡	七五二	五三三、五	—	一八	二三	七	七	九	八九	四一六	九、七〇八	—	—	—	—	—	—	—
橋樹郡	四、八一	四、〇六三	—	五三八	五八三	八二	九三	七八一	二、一三九	三、〇三九	三五、四〇六	—	—	—	—	—	—	—
都筑郡	五、七七七	六、〇六一	—	一、三四〇	一、四二九	一五六	一六七	二、六〇四	四、六七三	三、九三三	三三、六八七	—	—	—	—	—	—	—
三浦郡	七、〇三九	三、八二五	—	一、三〇六	一、六〇八	二七四	二八七	七二六	一、七四〇	二、七二〇	三三、二二五	—	—	—	—	—	—	—
鎌倉郡	五、五八四	五、五三二	—	一、一五二	一、四〇一	一三三	一五四	一、六四七	二、五五一	三、六五一	三九、〇〇五	—	—	—	—	—	—	—
高座郡	一、四三七	一、六一〇	—	二、二四四	二、五八四	二六三	二七二	八、一〇五	二、六三三	九、五七五	一一、四〇二	—	—	—	—	—	—	—
中郡	一〇、五四七	一〇、五六三	—	二、〇三六	二、四三三	七三九	七五八	五〇、三六	八、〇三九	七、〇五〇	八二、一九三	—	—	—	—	—	—	—
足柄上郡	六、五三三	五、三九九	—	四九〇	六二五	二、一七六	二、一七六	一、八〇三	二、八一一	三、〇一九	三四、三七二	—	—	—	—	—	—	—
足柄下郡	六、七三七	四、三四〇	—	四〇九	四八八	七二七	七四四	一、五二七	二、四五六	二、五八三	三六、四三五	—	—	—	—	—	—	—
愛甲郡	五、六三〇	五、〇六二	—	五〇七	六二二	一七二	一七七	二、七四八	四、七二四	二、九五三	三〇、六八四	—	—	—	—	—	—	—

津久井郡	計
四、七二五	二、八二一、九
七八、五六八	六九、五九五、一
五六三	六二四
一一、五六五	一四、六〇四
二六三	二六三
二六六	一、五八〇
一、五八〇	二、六六三
二、六六三	一、三三四
一一、一七九	—
六五三、二七四	—
六二八	—
一、二二〇	—
六四	—
三三	—
五二	—



第六表

農家戸數及耕地ニ對スル主要家畜郡市別表

(昭和七年末調)

四〇

郡市別	牛		馬		豚		鶏	
	農家百戸ニ對スル頭數	耕地百町ニ對スル頭數	農家百戸ニ對スル頭數	耕地百町ニ對スル頭數	農家百戸ニ對スル頭數	耕地百町ニ對スル頭數	農家百戸ニ對スル羽數	耕地百町ニ對スル羽數
横濱市	五三四	五八六	一二七	一四二	九〇二	一〇〇八	四六五	五二〇
横須賀市	四八六	一八六八	四五〇	一七三〇	三九九	一、三八二	二〇〇	七六八
川崎市	五二	六五	七八	九	二六三	三三	一四三	一八〇
平塚市	六八	一三五	三六	七二	一〇三七	二五八	二二	四六一
久良岐郡	三〇	四三	〇九	一三	一一八	一六七	一八八	二六五
橘樹郡	一一一	一四三	一九	二二	四四	五二	一一一	一三一
都筑郡	二四七	二三五	二八	二七	八〇	七七〇	八四	八〇
三浦郡	二二八	四二〇	四〇	七四	二四七	六一五	六三	一一一
鎌倉郡	二五〇	二五三	二七	二七	四五七	四六一	九九	一〇〇
高座郡	一七八	一五五	一八	二	八〇七	七六〇	一〇四	九〇
中郡	二三〇	二三〇	七一	七一	七六二	七六一	九九	九九
足柄上郡	九四	一一三	三三	四〇	四三〇	五二〇	六七	八二
足柄下郡	七二	一一二	一〇	一七	三六四	五六五	八四	一三〇
愛甲郡	一一〇	一二二	三一	三四	八五五	九三一	七三	八二

津久井郡	一三一	三二一	五六	九四	五六三	九四三	三一	五二
平均	一八五	二〇九	七三	八三	六三四	七二六	一一一	一二七

第七表 種牡牛累年移動表

大正	一	二	三	四	五	昭和	二	三	四	五	全	全	全	全	全
年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
ホルスタイン種	九三	八三	八六	九三	一〇三	九八	八八	一〇二	九七	二	二	二	二	二	二
エアシャー種	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
ゼルシー種	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
改良和種	七	七	七	七	七	五	五	五	五	一	二	二	二	二	二
朝鮮牛	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一〇〇	九二	九四	一〇二	一一二	一〇六	九七	一一二	一一〇	一〇七	一〇七	一一二	一一〇	一〇七	一〇七

第八表 郡市別種牡牛頭數表

(昭和八年末)

郡市別	種	種	種	計	縣有	團體有	私有	縣內產	外國產	小岩井產	千葉縣產	静岡縣產	北海道產	其他
横濱市	三	一	一	三	四	一	三	三	二	三	一	三	一	二
横須賀市	三	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
川崎市	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
平塚市	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
久良岐郡	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
橋樹郡	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
都筑郡	四	一	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三浦郡	四	一	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
鎌倉郡	八	一	一	八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
高座郡	一五	一	一	一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
中郡	一五	一	一	一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
足柄上郡	三	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
足柄下郡	三	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
愛甲郡	三	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

津久井郡	計	九五二
		一
		一
		三
		100
		七
		二
		八三
		三
		二
		六
		三
		一五
		二
		八

四四

第九表 畜牛累年移動表 △印ハ犢

大正三年	全四年	全五年	全六年	全七年	全八年	全九年	全一〇年	全一一年	全一二年	全一三年	全一四年	全一五年
成牝	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
牝	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
計	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
犢	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
牝	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
計	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
合計	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
生産	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
斃死	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
屠殺	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
農家百戸當	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭

四五

第一〇表

畜牛郡市別表

(昭和七年末)

郡市	飼養戸數	成牝		計	牝犢		計	合計	生産頭數	農家百戸對飼養戸數	耕地百町對飼養頭數
		牝	壯		牝	壯					
横濱市	1,873	1,566	271	1,837	9	33	128	1,965	88	5.4	58.6
横須賀市	18	95	3	98	10	1	10	108	80	48.6	186.8
川崎市	36	59	3	63	1	1	1	63	30	5.2	6.5
平塚市	35	38	18	56	1	1	1	56	4	6.8	13.5
久良岐郡	18	19	4	23	1	1	1	23	5	3.0	4.3
橋樹郡	538	513	63	576	6	1	7	583	5	12.1	14.3
都筑郡	1,340	985	304	1,289	84	56	140	1,429	84	24.7	23.5
三浦郡	1,306	1,449	100	1,549	54	5	59	1,608	157	23.8	42.0
鎌倉郡	1,153	1,218	128	1,346	48	7	55	1,401	73	25.0	25.3
高座郡	2,244	2,004	334	2,338	180	66	246	2,584	233	17.8	15.5
中郡	2,036	1,795	233	2,028	261	156	417	2,445	436	23.0	23.0
足柄上郡	490	480	47	527	62	26	88	615	69	9.4	11.3
足柄下郡	409	330	134	464	13	21	34	488	35	7.2	11.2
愛甲郡	507	423	113	535	60	27	87	622	83	11.0	12.3

年	全七	全六	全五	全四	全三	昭和二年
飼養戸數	11,093	11,026	10,326	11,496	10,498	10,252
成牝	2,019	2,092	2,410	2,382	2,745	2,804
壯	13,112	13,108	12,677	13,878	13,243	13,056
計	903	898	826	1,181	842	926
牝犢	589	468	425	886	533	503
壯	1,492	1,366	1,241	2,067	1,375	1,429
計	14,604	14,474	13,868	15,945	14,618	14,485
合計	1,389	1,268	1,009	1,925	1,189	1,210
生産頭數	103	76	88	123	84	120
農家百戸對飼養戸數	△ 67.5	△ 63.5	△ 67.9	△ 72.3	△ 84.3	△ 79.5
耕地百町對飼養頭數	18.58	18.64	17.60	20.45	18.78	18.94

第一表

馬匹累年移動表

年	內國			外國			計	計	頭生	頭斃	頭死
	牝	牡	雜	牝	牡	雜					
大正三年	二、四〇三	二、四四〇	二、四五七	二、〇一八	二、三	四、九一九	四、四七三	九、三九六	一三三	七一	
全四年	二、四三九	二、五三五	二、二四六	二、一五一	三	四、六七一	四、七〇四	九、三七五	一五〇	二〇	
全五年	二、五六六	二、二八七	一、九六三	二、二七四	三	四、五三三	四、五八一	九、一三三	一〇三	八八	
全六年	二、一七九	一、八七五	二、一六	二、六〇七	三	四、三〇九	四、八二五	九、一三四	四二	六六	
全七年	二、一七三	一、四三三	二、二四八	三、三三九	二	四、四二五	四、八二三	九、二四八	六四	九一	
全八年	一、九九一	一、三三三	一、四二四	三、三四二	一五七	四、五七二	四、七二六	九、二八八	一三〇	一〇三	
全九年	一、七九三	一、五三三	二、七七七	三、一七九	一八	四、五八八	四、七三三	九、三三〇	六六	三六	
全一〇年	一、四八五	一、五八四	二、八八五	三、〇二四	一六	三、四二一	三、七六八	七、一七九	二七	九八	
全一一年	?	?	?	?	?	?	?	?	?	?	
全一二年	一、六七八	一、八二八	二、七六三	三、四九一	二二	四、四六三	五、三八三	九、八四六	三二	一二三	
全一三年	一、四九三	一、二九六	二、三七九	三、四〇六	二二	三、八九四	四、八〇七	八、九〇八	二六	七五	
全一四年	一、三七五	一、一五三	二、五九四	三、四〇〇	四五	四、〇一四	三、六五五	八、六六九	一九	八五	
全一五年	一、五六七	一、〇二一	二、一三三	三、一八五	五九	三、七四八	四、三五五	八、一〇三	六	八六	
昭和二年	一、三〇三	六八五	二、四〇九	二、八六一	八六	三、七九八	三、六九七	七、四九五	八	七八	
全三年	一、〇二七	五七〇	二、五二二	二、六六四	七四	三、六一三	三、三六四	六、九七七	四	五五	

津久井郡	
計	五六三
內國	二、五六五
外國	一一〇
計	二、四四
內國	二、〇一九
外國	三九四
計	二八
內國	九〇三
外國	二〇二
計	一一〇
內國	一、四九二
外國	六二四
計	三三
內國	一、三八九
外國	一三一
計	二〇一
內國	一八〇
外國	二〇

全	全	全	全
七	六	五	四
年	年	年	年
六二八	五九八	五八七	七九四
一九三	二三四	二九五	四八六
二、六二九	二、五三八	二、六六一	二、五四三
二、三三三	二、二四九	二、四六六	二、六五七
四七	七四	八四	七九
八五	九一	一三一	一七〇
三、二九四	三、二一〇	三、三三三	三、四二五
二、五〇九	二、五六四	二、八九二	三、三〇四
五、八〇三	五、七七四	六、二二四	六、七二九
一六	一〇	一一	五
六一	七一	四三	七三

五〇

第一二表 馬匹郡市別表 (昭和七年末調)

郡市別	戸飼養數	當才				合計	頭生數	農家百戸耕地百町	
		牝	牡	明四才以上	明四才未滿			飼養頭數	飼養頭數
横濱市	二、三六	一	一	三	一	四七九	二一七	一四〇	
横須賀市	六九	一	一	一	一	一〇〇	四五〇	一七三	
川崎市	三七	一	一	一	一	九五	七八	九〇	
平塚市	二五	一	一	一	一	三〇	三六	七二	
久良岐郡	七	一	一	一	一	七	〇九	一三	
橋樹郡	八二	一	一	一	一	九三	一九	二二	
都筑郡	一五六	一	一	一	一	一六七	二八	二七	
三浦郡	二七四	一	一	一	一	二八七	四〇	七四	
鎌倉郡	一三三	一	一	一	一	一五四	二七	二七	
高座郡	二六三	一	一	一	一	二七二	一八	一六	
中郡	七三九	一	一	一	一	七五六	七一	七一	
足柄上郡	二、一三二	一	一	一	一	二、一七六	三三三	四〇三	
足柄下郡	七二七	一	一	一	一	七四四	一一〇	一七一	
愛甲郡	一七二	一	一	一	一	一七二	三一	三四	

五一



第一四表

豚の累年移動表

年	戸飼養數	成豚		仔豚		合計	生産數	斃數	屠殺數	農家百戸ニ對スル飼養頭數
		牝	頭	牝	頭					
大正三年						一九、二二三	一四、一三五	九七九		
全四年						二〇、七八二	一三、八〇四	九一九		
全五年						二〇、二四七	一五、四五四	一、〇九六		
全六年						三四、三五二	一九、〇三〇	一、二九六		
全七年						二四、六九五	二〇、一七三	一、三六九		
全八年						二七、六七二	二三、五七九	一、八三四		
全九年						三六、八〇三	三〇、一四〇	一、七六四		
全一〇年						三四、八四六	二五、〇八六	八、九五二		
全一一年						?	?	?		
全一二年						三九、八二三	二九、七七六	七、三一		
全一三年	二五、二七六					四四、九二八	三〇、七二六	八、〇四三		
全一四年	二二、五三三					三七、九二一	二五、八四二	五、五〇一		
全一五年	二二、三四八					三四、五六一	二三、九六九	二、九一三		
昭和二年	二二、六四七					三四、九四九	二五、二三〇	二、五四八		
全三年	二二、一五一					三六、七四二	二六、〇八二	二、四五六		

全四年	二二、〇六〇	八、二一九	四、六六八	一一、八六四	九、〇二三	三三、七四四	二四、七三一	二、二〇〇	九一、二五八	四三、二〇〇
全五年	二三、三八六	八、七三一	四、三二六	一四、一三三	一〇、三一八	三七、四九六	二七、四五三	二、〇九一	八三、九一七	四七、六三
全六年	二六、五一〇	一一、七三九	四、六九五	一七、五一五	一三、二九五	四七、二四四	三五、〇四〇	三、四二九	八〇、一二六	六〇、八六
全七年	二七、六五七	一一、二四六	五、〇二八	一九、七六八	一三、九一五	四九、八五七	三八、六一九	三、四六三	一〇七、六七七	六三、四五



第一五表

豚郡市別表

(調昭和七年末)

郡市別	飼養戸數			計	飼養頭數		頭生數	頭斃數	農家百戸耕地百町	
	一頭	二頭	三或八頭以上		成豚	仔豚			飼養頭數	飼養頭數
横濱市	一五〇	三九	一五八	六八八	一、〇七五	二、三〇四	二、三六七	九六	九〇・二	一〇〇・八
横須賀市	二	五	五	二八	一八五	六二四	七三六	一七七	三五九・九	一、三八二・三
川崎市	三	七	二	二二	七七	二四二	二二五	四	二六・三	三三・二
平塚市	一九六	八六	五四	三五六	二四五	六〇七	一、二六五	七二	一〇三・七	二〇五・八
久良岐郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
橋樹郡	三三五	二二二	二二	七八一	三三	五六	—	一〇二	一一・八	一六・七
都筑郡	一、六二六	七二八	二〇六	二、六〇四	四三九	一、七〇〇	二、二八六	一九七	四四・四	五二・六
三浦郡	五六七	七八	四〇	七二六	九七九	三、六九四	三、三二二	二六	八〇・八	七七・〇
鎌倉郡	一、二二二	二八九	八一	一、六四七	七三四	一、〇〇六	六二六	七〇	二四・七	六一・五
高座郡	五、六七五	一、六九六	五六五	八、〇三五	七〇〇	一、八五一	一、八八七	一九七	四五・七	四六・一
中郡	三、五〇五	一、〇三七	三〇九	五、〇三六	四、八〇〇	七、八三三	一〇、四四一	七二三	八〇・七	七六・〇
足柄上郡	一、二九九	四〇一	一三	一、八〇三	二、六五四	五、三九五	五、八四九	四〇六	七六・二	七六・一
足柄下郡	一、二二三	二八九	六六	一、五二七	九四一	一、八七〇	三、二六〇	一七八	四三・〇	五二・〇
愛甲郡	一、八四一	六二四	一九八	二、七四八	一、四九一	三、二二三	二、九七三	一四五	八五・五	九三・一

津久井郡	一、〇四九	三七七	一一四	四〇〇	一、五八〇	五八四	一、八一二	一六八	五六・三	九四・三
計	一八、五二一	六、〇三六	二、〇三六	一、〇三〇	二七、六五七	一六、一七四	三三、六八三	四九、八五七	三八、六一九	三、四六三

全	全	全	全
七	六	五	四
年	年	年	年
三	二	三	三
三	二	三	三
九	七	八	六
六	〇	四	四
一	三	一	一
五	五	三	四
二	九	三	五
六	四	四	七
			一
		四	

第一六表

緬羊の累年移動表

全	昭	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	大
三	和	一	一	一	一	一	〇	九	八	七	六	正
年	二	五	四	三	二	一	年	年	年	年	年	三
七	三	〇	三	四								年
三	三	三	三	三								三
〇	三	五	八	三								三
四	四	四	五	二								三
三		一	一	七								三
五	四	五	四	七	七	?	四	七	五	八	六	三
〇	七	五	四	七	七	?	四	七	五	八	六	三
六	六	五	六	二	九	?	九	三		六		九
六	六	五	六	二	九	?	九	三		六		九
三	二		四	五	六	?	一	五				
三	二		四	五	六	?	一	五				
	一		五		?							
	一		五		?							

第一七表 緬羊郡市別表

(昭和七年末調)

郡市別	飼養頭數			計	飼養頭數			計	頭生數	頭斃數
	一頭	二頭	三頭以上		成緬羊	仔緬羊	計			
橫濱市										
橫須賀市										
川崎市										
平塚市										
久良岐郡										
橋樹郡										
都筑郡										
三浦郡										
鎌倉郡										
高座郡										
中郡		四	五							
足柄上郡										
足柄下郡										
愛甲郡										
計										

津久井郡	九
計	七
	五
	一
	三
	四
	七
	五
	六



第一九表

山羊郡市別表

(昭和七年末調)

郡市別	飼養頭數				飼養頭數		生産頭數	斃死頭數
	一頭	二頭	三又四頭	五以上頭	成山羊	仔山羊		
横濱市	—	—	—	—	—	—	—	—
横須賀市	—	—	—	—	—	—	—	—
川崎市	—	—	—	—	—	—	—	—
平塚市	—	—	—	—	—	—	—	—
久良岐郡	—	—	—	—	—	—	—	—
橋樹郡	—	—	—	—	—	—	—	—
都筑郡	—	—	—	—	—	—	—	—
三浦郡	—	—	—	—	—	—	—	—
鎌倉郡	—	—	—	—	—	—	—	—
高座郡	—	—	—	—	—	—	—	—
中郡	—	—	—	—	—	—	—	—
足柄上郡	—	—	—	—	—	—	—	—
足柄下郡	—	—	—	—	—	—	—	—
愛甲郡	—	—	—	—	—	—	—	—
計	五二五	一〇七	一三五	—	六二六	—	—	—

津久井郡	計
三〇	四八五
六	一一八
七	五五
—	三三
四三	六二八
三八	九〇三
二六	三二七
六四	一一二〇
一〇	二四七
三	三二

鶏の累年移動表

年	總羽數		飼養			計數	農家一戸ニ對スル成鶏飼養羽數	産卵個數
	成鶏	雛	十羽未満	五十羽以上	五十羽以上			
大正三年	一九二、一三一	八二、九六九				四六、九二		一四、二〇三、六八四
四年	一九四、七二二	八〇、六六三				四六、三四		一三、五四一、四三九
五年	二二三、四五六	八九、二九〇				四七、二三		一五、二四一、一二八
六年	二二〇、六八四	一二三、八五九				四八、三九六		一七、一〇一、八六六
七年	二二一、二六〇	一〇四、八二六	四四、〇五八			四九、四八七		一六、二二六、七四四
八年	二二八、三四九	一〇九、七七八	四四、一三			四九、六六七		一五、九一九、九六九
九年	二二四、九七六	一〇七、二九五	四五、二六三			五〇、八九九		一五、七七七、五六七
全一〇年	二五六、〇九九	一〇〇、五三三	四五、三三一			五二、〇〇八		一〇、五二〇、〇二五
全一一年	?	?	?			?		?
全一二年	三〇八、〇二三	一七四、六四三	四五、九二三			五五、三七六		二五、七〇七、〇六二
全一三年	三三八、〇九四	五四、二三四	四四、八〇六			三七三		二二、七〇八、〇六二
全一四年	三四一、五三六	一七三、四七三	四六、〇三〇			四三五		二六、六六七、九二二
全一五年	三六六、一七六	一八五、二一〇	四六、二四一			四、三一		二六、六六七、九二二
昭和二年	四一〇、五二七	二〇九、三九二	四六、五二二			五六、七四九		二六、九二九、五五二
						七三六		三一、七七六、六七八

全三年	四四二、五八四	二七、五五七	四五、四四九	一一、〇五八	九九〇	五七、四九七	五、六五	三四、七三一、〇五六
全四年	四八三、九三八	二四九、一六一	四三、九二五	一一、八八一	一一、二二三	五七、〇一九	五、七一	三八、九八四、九三九
全五年	五四三、五〇五	二二一、六八八	四〇、七七	九、八八九	一一、三五六	五一、九六二	七、八一	五〇、〇四三、八二二
全六年	六二六、八〇八	二八五、三九七	三九、二五〇	九、七九九	一一、八八四	五〇、九三三	八、〇七	五五、八〇八、七七六
全七年	七〇六、九八二	二四三、五七〇	三八、〇四七	八、九三九	二、一四六	四九、一三三	八、一五	七一、一四七、八七四
全八年	六五三、二七四	二三一、四九三	三五、九一三	八、二九二	一、八九九	四六、一〇四		六二、五六三、一〇五

第二一表

鶏郡市別表

(昭和八年六月末調)

郡市別	飼養戸數			計	成鶏	雛	計	産卵數	雌一羽當 リ産卵數	農家一戸當 リ飼養數
	十羽以上	十羽以下	末十羽							
横濱市	二、二七	六二五	三九四	三、一三六	一四〇、二九〇	三三、九八七	一七四、二七七	一八、八一九、四七〇	一三九・二	四六・五
横須賀市	九七六	三九三	五八	一、四三七	三、二九四	一三、一〇八	四四、四〇三	四、〇八八、八四〇	一四〇・四	二〇〇・〇
川崎市	五二二	一一五	三〇	六五七	一一、六三七	四、六八一	一七、三三八	八七一、七三三	八〇・三	一四・四
平塚市	五二二	九一	二七	六四一	一〇、七七七	八、三三三	一九、一〇〇	一、二〇六、二四〇	一一〇・〇	二二・二
久良岐郡	三三三	六四	一九	四一六	九、七〇八	四、四三九	一四、一四七	八六一、〇八〇	九六・六	一八・八
橋樹郡	二、四〇九	五三三	一〇八	三、〇三九	三五、四〇六	一八、〇九二	五三、四九九	三、四一七、六二八	一〇六・六	一一・一
都筑郡	三、四一七	四三八	七八	三、九三三	三三、六八六	一五、一三五	四八、八二二	二、五〇八、八四五	八四・八	八・四
三浦郡	二、〇三七	五九五	七八	二、七〇〇	三三、二二五	一一、四三四	四四、六四九	二、六三七、七三一	八六・七	六・三
鎌倉郡	二、八五七	六八九	一〇五	三、六五一	三九、〇〇五	一六、六二五	五五、六二〇	三、九六三、一〇八	一一一・五	九・九
高座郡	六、九六三	二、二五九	三五三	九、五七五	一一、四〇二	三、八、七三三	一五、〇四七	八、九四八、八三四	八八・七	一〇・四
中郡	五、三九三	一、四一八	二二九	七、〇五〇	八二、一九三	二二、〇三四	一〇五、二二七	七、二七、〇一三	九七・六	九・九
足柄上郡	二、六二九	二六九	一一二	三、〇一九	三四、三七二	九、九二九	四四、五、三〇一	三、四三九、六九〇	一一四・三	六・七
足柄下郡	二、〇五三	三九九	一四二	二、五八三	三六、四三三	二〇、一六八	五六、六〇三	一、一四三、五二六	三五・二	八・四
愛甲郡	二、五六八	二七九	一〇六	二、九五三	三〇、六八四	一〇、八五七	四一、五四一	二、三七六、七四六	九一・一	七・三

津久井郡	計
一、一二七	一、一二七
一四六	一四六
四二	四二
一、三三四	一、三三四
一一、一七九	一一、一七九
三、六〇八	三、六〇八
一四、七八七	一四、七八七
一、〇七二、六三二	一、〇七二、六三二
一一三・二	一一三・二
三・一	三・一

第二二表

鶯の累年移動表

年	總羽數		飼養		計	產卵個數
	成禽	雛	十羽未滿	五十羽未滿以上		
大正三年	三,九一六	三,〇五五	—	—	—	九一,五二五
全四年	三,五九五	一二,二五九	—	—	—	一〇九,九〇四
全五年	三,三八三	三,四〇三	—	—	—	一二〇,八七五
全六年	三,七四八	三,三五六	—	—	—	一二四,五〇五
全七年	三,三五〇	三,七九五	—	—	—	一四三,一〇九
全八年	三,三九一	三,八四八	—	—	—	一〇六,五五九
全九年	三,一五八	三,三二六	—	—	—	九五,一四四
全一〇年	三,六七九	四,一八一	—	—	—	一二五,七七四
全一一年	?	?	—	—	—	?
全一二年	五,五三三	六,三八五	—	—	—	一四九,三五〇
全一三年	四,三五九	三,五七六	—	—	—	一一〇,四〇五
全一四年	四,〇二三	二,九五四	—	—	—	一一〇,六六一
全一五年	二,七四一	二,六七八	—	—	—	一一七,四六四
昭和二年	二,四〇四	二,七三四	—	—	—	八一,七六四

全三年	二,二八二	三,〇八一	三三三	七二	一二	四一七	七八,九九五
全四年	三,二二八	二,八二四	三三九	九九	一七	四四五	九七,三七八
全五年	二,八一三	二,〇一四	三〇二	九三	五	四〇〇	七三,九五三
全六年	四,二五八	三,〇七九	二九六	二八	一三	四三七	二八二,一八二
全七年	三,七八七	二,五九九	二八九	九〇	一〇	三八九	二〇四,三八三
全八年	二,九三七	二,六五六	二六〇	一三〇	六	三九六	一四五,三〇五



第二三表

鷺郡市別表

(昭和八年六月末調)

郡市別	飼養戸數			成		計	雛	産卵數
	十羽未満	五十羽未満以上	五十羽以上	雌	雄			
横濱市	一三	二五	四	八二	八四	八九	六八	八二、〇五〇
横須賀市	七	四	一	二七〇	二二	三八	六九	二、三六五
川崎市	〇	〇	〇	三六	一八	五四	一四	五、一九二
平塚市	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
久良岐郡	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
橋樹郡	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
都筑郡	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三浦郡	二五	二	〇	四八	四	五三	二〇	〇
鎌倉郡	二七	二	〇	四九	一六	六五	一〇	四、〇三〇
高座郡	二	二	〇	一三七	二九	一六	二	七五六
中郡	一五	七	〇	九四	二五	一二	一八	二、七二二
足柄上郡	三	七	〇	二〇五	二〇	一、二四九	七四	一、七三〇
足柄下郡	五	一	〇	二〇	一〇	二八	一八	三、七三〇
愛甲郡	九	一	〇	四六	二七	五九	二六	一、〇四八
計	一〇六	三八	二	二、四二九	五〇八	二、九三七	二、六五六	一、三〇〇

津久井郡	三	〇	〇	一三	六	一八	一〇	一、三〇〇
計	三	〇	〇	一三	六	一八	一〇	一、三〇〇

第二四表

牛乳生產累年比較表

年	搾乳業者農家其他		計	搾乳業者農家其他		計	搾乳業者農家其他		計	價格
	戶	頭		頭	頭		石	石		
大正三年	147	147	147	1,943	1,943	8,756	255,180			
全四年	147	147	147	2,063	2,063	12,134	320,583			
全五年	139	139	139	1,974	1,974	10,540	244,023			
全六年	143	143	143	1,899	1,899	11,478	311,281			
全七年	144	144	144	2,108	2,108	16,625	508,155			
全八年	141	141	141	2,141	2,141	19,882	717,953			
全九年	172	172	172	2,205	2,205	15,727	869,061			
全一〇年	259	259	259	2,129	2,129	22,424	1,081,482			
全一一年	?	?	?	?	?	?	?			
全一二年	722	722	722	2,291	2,291	23,164	1,091,827			
全一三年	595	595	595	2,323	2,323	26,463	1,032,266			
全一四年	724	724	724	2,462	2,462	25,158	919,235			
全一五年	523	523	523	2,416	2,416	23,997	827,201			
昭和二年	391	391	391	2,371	2,371	25,988	870,733			
全三年	467	467	467	2,449	2,449	29,339	906,595			

全四年	168	765	933	1,990	945	28,022	13,662	41,684	1,238,171
全五年	165	876	1,041	1,984	1,071	29,059	17,251	46,330	1,154,759
全六年	169	767	936	1,831	994	23,371	16,406	39,777	791,226
全七年	165	755	920	1,831	764	35,445	16,833	52,278	837,177

第二五表

牛乳生産郡市別表

(昭和七年末調)

郡市別	搾乳場數		搾乳業者農家其他		計	搾乳業者農家其他		計	價格
	搾乳業者	農家其他	搾乳業者	農家其他		搾乳業者	農家其他		
横濱市	六三	三	一、一九五	六	一、二〇一	一五、七六四	二四一	一六、〇〇五	二八七、二六
横須賀市	二	〇	九三	〇	九三	九五八	〇	九五八	二三、九五〇
川崎市	二	〇	三九	〇	三九	四七六	〇	四七六	七、六二三
平塚市	一	〇	一四	〇	一四	一六五	〇	一六五	八、二五〇
久良岐郡	一	〇	八	〇	八	八〇	〇	八〇	四、八〇〇
橋樹郡	一	〇	五	〇	五	三八九	〇	三八九	一〇、九四〇
都筑郡	五	〇	四八	〇	五三	一、四三一	〇	一、四三一	九、六〇六
三浦郡	一	〇	二四	〇	二四	一、九三一	〇	一、九三一	九三、二〇〇
鎌倉郡	二	〇	一八四	〇	一八六	二、〇七〇	九〇	二、一六〇	五〇、三七〇
高座郡	一	〇	一四九	〇	一四九	一、二八〇	〇	一、二八〇	五五、七五八
中郡	一	〇	一〇六	〇	一〇六	一、〇三五	一、五六一	二、八四一	五三、九二五
足柄上郡	一	〇	二二	〇	二二	四七九	八四一	一、三二〇	二六、六一一
足柄下郡	一	〇	八五	〇	八六	八、八六二	一〇	八、八七二	四〇、七六二
愛甲郡	一	〇	二六	〇	二六	二九〇	四、〇〇三	四、二九三	五、六二六
計	六五	三	一、一九五	六	一、二〇一	一五、七六四	二四一	一六、〇〇五	二八七、二六

津久井郡	四	一	二四	六二	八六	二八一	一	二八一	一三、七二〇
計	一六五	七五五	九二〇	二、二六二	二、八〇四	五、〇六六	三五、四四五	一六、八三三	五二、二七八
									八三七、一七七

第二六表

乳製品累年比較表

年	製造戸數	煉乳		バター		其他		價額計
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	
大正八年	六戸	—	—	—	—	—	—	—
全九年	五戸	—	—	—	—	—	—	—
全一〇年	五戸	—	—	—	—	—	—	—
全一一年	?	—	?	—	?	—	?	—
全一二年	四戸	—	—	—	—	—	—	—
全一三年	五戸	—	—	—	—	—	—	—
全一四年	四戸	—	—	—	—	—	—	—
全一五年	七戸	—	—	—	—	—	—	—
昭和二年	一六戸	一、二四、六九八	四三、三九七	一、七七〇	一、九一七	四〇六、〇四	一〇一、五七六	九一五、三五
全三年	一五戸	一、九八、九八一	—	—	—	—	—	—
全四年	一〇戸	二、六九、〇六〇	—	—	—	—	—	—
全五年	一〇戸	二、八五、一四三	—	—	—	—	—	—
全六年	七戸	五、四六、三〇〇	—	—	—	—	—	—
全七年	六戸	七、一〇、〇八二	—	—	—	—	—	—
計								

第二七表

乳製品生産額郡市別表

(昭和七年末調)

郡市別	製造場數	煉乳		バター		其他		價額計
		數量	價額	數量	價額	數量	價額	
横濱市	二	—	—	—	—	—	—	—
平塚市	一	一、七〇、〇八二	一七、一五三	—	—	—	—	八五、七八二
高座郡	一	—	—	—	—	—	—	二八三、五五八
中郡	二	—	—	—	—	—	—	二五〇
計	六	七、一〇、〇八二	一七、一五三	二、三二二	一、八四一	三、四八、九一〇	八五、七八二	三七一、一八一

第二八表

肉製品生産累年比較表

年	製造戸數	ハ		ム		ベ		コ		其		他		價格計
		數	量	價	額	數	量	價	額	數	量	價	額	
大正八年	八戸	九〇八、九〇四	斤	一、一三三、〇八〇	円	一三三、三〇〇	斤	六六、三〇〇	円	三九二、五〇〇	斤	七六、九〇〇	円	一、一九九、三八〇
全九	九	一、〇六四、五七六	斤	九三三、五二四	円	二〇六、六七六	斤	二九、六〇〇	円	三九二、五〇〇	斤	七六、九〇〇	円	一、一四〇、〇二四
全一〇	八	五三〇、三〇〇	斤	四六〇、三〇〇	円	一八九、三〇〇	斤	一五七、九〇五	円	五〇、五七四	斤	一二、四三〇	円	六三〇、六二五
全一一	?	?	斤	?	円	?	斤	?	円	?	斤	?	円	?
全一二	七	一、四三二、四〇〇	斤	一、〇七六、四〇〇	円	二〇〇、五〇〇	斤	一三〇、二〇五	円	四九、三八〇	斤	四六、一六	円	一、二五〇、〇七二
全一三	八	一、二五六、七七九	斤	七二〇、八八九	円	四三九、六五九	斤	一七六、二九一	円	二六、一四〇	斤	一三三、三四三	円	一、〇一〇、五三二
全一四	一一	一、五六一、〇〇〇	斤	一、〇四三、五〇〇	円	二八一、〇〇〇	斤	一六七、四〇〇	円	一、四六一、六七四	斤	五〇八、五九〇	円	一、七一九、五四〇
全一五	五	一、四〇四、四〇四	斤	一、〇〇九、三一一	円	三三三、五九〇	斤	一九二、一四〇	円	一五六、一六〇	斤	一一〇、八四七	円	一、三三二、一〇八
昭和二年	一〇	一、五八四、九〇五	斤	一、〇三九、二八八	円	四〇九、七八五	斤	二四三、九五七	円	一一〇、六八七	斤	七二、〇六四	円	一、三五五、三〇九
全三	一三	一、五四九、六二七	斤	八二四、四七〇	円	四一六、九二一	斤	一八四、三三二	円	二二八、二九九	斤	一五八、一三五	円	一、一六六、九二七
全四	一二	一、四三七、八四五	斤	七四三、三〇七	円	四四五、五九七	斤	二〇五、五七五	円	一、二五七、三四五	斤	四七四、四五六	円	一、四二三、三三八
全五	一三	一、三四、八九三	斤	七〇八、八八四	円	三九二、三八〇	斤	一七五、〇七一	円	七三三、九六八	斤	四六三、五七四	円	一、三四七、五三九
全六	一六	一、四六五、一五〇	斤	八〇七、三九八	円	八八、七二二	斤	五六、七九〇	円	八四六、三〇九	斤	二五八、七八二	円	一、一二二、九七〇
全七	一三	一、二八二、四一七	斤	六七四、七九七	円	一〇一、六六九	斤	四二、五三三	円	一、五三二、四三〇	斤	三七四、一八六	円	一、〇九一、五一六

第二九表

肉製品郡市別生産表

(昭和七年末調)

郡市別	製造場數	ハ		ム		ベ		コ		其		他		價額計
		數	量	價	額	數	量	價	額	數	量	價	額	
横濱市	六戸	三五四、七〇八	斤	一三五、七〇三	円	四七、二五〇	斤	一七、六二〇	円	一、四三六、〇一五	斤	二八六、二二六	円	四三九、五四九
鎌倉郡	四	九二七、〇〇九	斤	五三五、五九四	円	五三、九一九	斤	二二、一六三	円	八七、八九五	斤	七五、一八〇	円	六三三、九三七
足柄下郡	三	七〇〇	斤	三、五〇〇	円	五〇〇	斤	一、七五〇	円	八、五二〇	斤	一一、七八〇	円	一八、〇三〇
計	一三	一、二八二、四一七	斤	六七四、七九七	円	一〇一、六六九	斤	四二、五三三	円	一、五三二、四三〇	斤	三七四、一八六	円	一、〇九一、五一六

第三〇表 成牛、犢、馬別屠殺頭數肉量及一頭價額累年比較表

年	成牛			犢			馬		
	頭數	肉量	一頭平均價額	頭數	肉量	一頭平均價額	頭數	肉量	一頭平均價額
大正八年	二、七九一	六〇六、五二五	一八九	二、一九五	一〇、六九四	三二	一、二四	四四、六〇四	七八
全九年	二、八一	六六一、三四八	二三八	二、二八五	一三、一八四	一五	九三九	三八、一六一	八〇
全一〇年	二、六五〇	五九四、二七四	二六六	一、八八一	一一、七五三	三三	一、三六五	五三、五四七	八三
全一一年	?	?	?	?	?	?	?	?	?
全一二年	二、一九九	五三三、七四四	一六八	一、三七二	八、一三五	一六	一、七四〇	六八、七二二	八九
全一三年	二、〇二五	五一一、四〇六	一七六	八二四	四、七四三	一四	一、七三五	六九、〇六五	八二
全一四年	八、二二八	三六八、一五三	二二六	七四二	四、二七九	三九	一、七一九	七三、八二二	七七
全一五年	七、七七三	三四三、〇九八	一五八	九四三	五、五二八	一三	一、六六六	六二、三五九	七七
昭和二年	七、九一五	三四九、一三八	一八六	八六七	五、二二三	一九	一、八七六	七五、四二三	七八
全三年	八、四四三	四二八、〇二二	二二五	一、〇〇九	五、四三三	一七	二、三二九	八九、四八七	七八
全四年	七、九三三	四二七、一八一	二二〇	一、〇四二	五、三三九	一八	一、九五八	七九、六九六	七七
全五年	六、七一九	三五〇、一三七	二二二	九二四	五、一五六	一九	二、〇二五	八一、六一八	七八
全六年	六、六三五	四一七、三〇四	二二八	八二二	五、一五	一九	一、九四四	八二、六九六	四八
全七年	六、七三六	四五〇、一九九	二二一	七五〇	四、六七三	一九	一、七九九	七四、四九四	四六

第三一號 豚、緬羊、山羊別屠殺頭數肉量及一頭價額累年比較表

年	豚			緬羊			山羊		
	頭數	肉量	一頭平均價額	頭數	肉量	一頭平均價額	頭數	肉量	一頭平均價額
大正八年	四七、五二〇	六九〇、二五六	四一	?	?	?	二九五	一一、〇一七	一三七
全九年	五二、四九五	七八〇、四九三	三四	?	?	?	五三三	一、三七二	一七
全一〇年	六四、九九八	八九八、二三〇	四三	?	?	?	一一六	三九二	一七
全一一年	?	?	?	?	?	?	?	?	?
全一二年	四七、三五三	六五八、一三一	四五	?	?	?	五三	一五五	一三
全一三年	六六、九一二	九九九、四六七	三五	?	?	?	二二	六六	一三
全一四年	八〇、五〇二	一一三、八四三	三八	?	?	?	四五	一五〇	六
全一五年	六三、二七八	八五五、七九三	三七	?	?	?	七三	三七二	六
昭和二年	五八、八九四	七八七、一六	三三	?	?	?	一六三	四七一	八
全三年	七七、六七	九六一、一〇一	三三	?	?	?	二二三	八六四	一一
全四年	九一、二五八	一、三〇三、六二八	三三	?	?	?	三〇〇	一、〇八九	四
全五年	八三、九一七	一、一九七、二五三	三三	?	?	?	三一四	一、三三五	四
全六年	八〇、二二六	一、二七一、三七〇	二八	?	?	?	一九四	八八九	五
全七年	一〇七、六七七	一、六六〇、一〇〇	二五	?	?	?	一四五	六四四	九

第三二表

獸醫師、蹄鉄工、家畜業者累年移動表

大正八年	大正九年	全一〇年	全一一年	全一二年	全一三年	全一四年	全一五年	昭和二年	全三年	全四年	全五年	全六年
六八人	六六人	六〇人	?	四三	五三	七〇	一〇三	一〇四	一〇六	一〇八	一〇八	一〇八
二九人	二五人	一六人	?	九〇	九〇	七三	二六	一三	一七	一七	一七	一七
六〇人	六〇人	六〇人	?	五九	六〇	六〇	五九	五七	五五	五五	五五	五五
四四人	四四人	四七〇	?	四七五	五三	四八六	四二八	四四六	四四五	四六三	四七三	四七三
一人	一人	一人	?	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人

第三三表

馬匹去勢累年比較表

大正八年	全九年	全一〇年	全一一年	全一二年	全一三年	全一四年	全一五年	昭和二年	全三年	全四年	全五年	全六年
一九	二三	一六	?	一八〇	五九	六二	六二	一〇六	一〇八	一〇二	一〇二	一〇二
九五	八〇	八六	?	一〇〇	二七	?	?	?	?	?	?	?
二八	一〇二	一〇四	?	一二七	三〇	三一	四三	四三	四三	四三	四三	四三
一七	一〇一	一〇三	?	一二七	三〇	三一	四三	四三	四三	四三	四三	四三
一	一	一	?	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二〇	一	三六	?	二五	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
二	二	二	?	二	二	二	二	二	二	二	二	二

第三四表

畜牛結核病検査成績累年表

(年度別)

年度	検査牛数		健康牛	検査成績			検査牛数ニ對スル病牛百分率
	ツベルクリン注射ヲ行ヒタルモノ	ツベルクリン注射ヲ行ハザルモノ		計	款症牛	輕症牛	
全一二年	一、一六五	三、七五〇	四、九一五	九	四	一	〇、三六五
全一三年	七五九	三、九四九	四、七〇八	七	一	一	〇、二四七
全一四年	一、四五八	三、三九六	四、八五四	七	五	一	〇、二九四
全一五年	一、六七八	三、四一八	五、〇八六	八	七	一	〇、二九四
昭和元年	一、六三五	三、二二六	四、八八一	三	七	一	〇、五九八
全二年	二、〇七三	三、三三三	五、四〇六	一	三	一	〇、九四五
全三年	二、八六四	二、三三一	五、一七五	一	三	一	〇、四八〇
全四年	二、一三九	一、六六七	三、八〇六	一	一	一	〇、九三〇
全五年	二、五二九	一、二三一	三、七六〇	二	二	一	〇、六一一
全六年	二、八九一	二、一三九	五、〇三〇	一	三	一	〇、四二八

第三五表

畜牛結核病検査郡市別累年表

郡市	検査牛数		健康牛	検査成績			検査牛数ニ對スル病牛百分率
	病牛数	百分率		計	款症牛	輕症牛	
横濱市	七九三	六	七九二	一	一	一	一、一九三
横須賀市	一四三	四	一三九	一	一	一	一、三四一
川崎市	九、三〇二	二	九、三〇〇	一	一	一	一、三九二
平塚市	三	一	二	一	一	一	一、七
久良岐郡	一〇六	二	一〇四	一	一	一	一、八



計	三浦郡	足柄下郡	足柄上郡	津久井郡
檢查牛數	四、七〇六	三八一	三六	一四九
病牛數	四、八五四	二九四	三三二	一四九
百分率	〇、二四七	二九四	三三二	一四九
檢查牛數	五、〇九六	四一〇	二九四	一六五
病牛數	五、〇九六	四一〇	二九四	一六五
百分率	〇、二九四	四一〇	二九四	一六五
檢查牛數	四、八五一	〇、五八一	三三四	一五五
病牛數	四、八五一	〇、五八一	三三四	一五五
百分率	〇、五九八	〇、五八一	三三四	一五五
檢查牛數	五、三九五	〇、五三九	三三三	一六七
病牛數	五、三九五	〇、五三九	三三三	一六七
百分率	〇、九四五	〇、五三九	三三三	一六七
檢查牛數	五、二〇五	〇、九四一	〇、六七二	一四九
病牛數	五、二〇五	〇、九四一	〇、六七二	一四九
百分率	〇、四八〇	〇、九四一	〇、六七二	一四九
檢查牛數	三、八〇六	三三九	二二一	一〇五
病牛數	三、八〇六	三三九	二二一	一〇五
百分率	〇、九二〇	三三九	二二一	一〇五
檢查牛數	三、七六〇	二三八	〇、三九〇	九四
病牛數	三、七六〇	二三八	〇、三九〇	九四
百分率	〇、六一一	二三八	〇、三九〇	九四
檢查牛數	五、〇三〇	〇、四二〇	一六三	一八六
病牛數	五、〇三〇	〇、四二〇	一六三	一八六
百分率	〇、四一八	〇、四二〇	一六三	一八六

愛甲郡	中郡	高座郡	鎌倉郡	都筑郡	橋樹郡
檢查牛數	一、〇三〇	五七七	三三三	三三	一八三
病牛數	一、〇三〇	五七七	三三三	三三	一八三
百分率	二八六	三三四	三三四	二四七	一六〇
檢查牛數	〇、二九五	二	三三四	二五九	一七五
病牛數	〇、二九五	二	三三四	二五九	一七五
百分率	一、一四七	七九六	三三四	二二七	三五
檢查牛數	一、〇四五	〇、六三六	〇、六〇四	三三二	四、四四四
病牛數	一、〇四五	〇、六三六	〇、六〇四	三三二	四、四四四
百分率	〇、五七四	六	六	二	二
檢查牛數	〇、二九五	一、〇一八	〇、七六九	三九〇	二四四
病牛數	〇、二九五	一、〇一八	〇、七六九	三九〇	二四四
百分率	〇、二九五	一、〇一八	〇、七六九	三九〇	二四四
檢查牛數	〇、三三八	〇、六一四	〇、七九一	三七九	二八
病牛數	〇、三三八	〇、六一四	〇、七九一	三七九	二八
百分率	〇、三三八	〇、六一四	〇、七九一	三七九	二八
檢查牛數	〇、三三三	〇、六五一	〇、九九〇	三〇三	二八
病牛數	〇、三三三	〇、六五一	〇、九九〇	三〇三	二八
百分率	〇、三三三	〇、六五一	〇、九九〇	三〇三	二八
檢查牛數	〇、三〇五	九八四	四、一六六	七二	四、七六一
病牛數	〇、三〇五	九八四	四、一六六	七二	四、七六一
百分率	〇、三〇五	九八四	四、一六六	七二	四、七六一
檢查牛數	〇、〇〇〇	一、二四一	〇、二一九	〇、八七一	一三四
病牛數	〇、〇〇〇	一、二四一	〇、二一九	〇、八七一	一三四
百分率	〇、〇〇〇	一、二四一	〇、二一九	〇、八七一	一三四

緬		山		鷄	
總頭數	生產數	總頭數	生產數	總羽數	產卵筒數
一八五	三八	一、〇六七	四三二	一、三〇〇、三五五	八七、四三〇、二九〇
一五五	二〇	六六	二〇六	八三、六六五	六一、一七四、八九九
三七四	九二	一五四	四〇	五六四、三五九	二五、〇六五、一四七
六五	二四	一、二六四	四四一	九六五、九二八	六三、六四九、七三五
一七	四	三、六七七	一、七八二	六七五、四〇二	四七、三六八、四三一
二	三	一、二五二	四七五	五二七、〇八〇	二六、七一九、五二三
七六八	一〇〇	五七九	一、五五	一、九九九、六四九	八九、二五二、二五〇
二六五	二六七	八、一五九	四、三三九	七〇三、一四四	二九、二三九、九六〇
七六八	七	七五八	二九二	八六八、五四三	三六、三三八、五二九
三七	七	六八〇	二六一	一、〇九七、〇七八	五五、二九九、七〇六
二三四	七八	三三〇	一〇四	八二八、六七五	四四、七〇一、六七四
六七七	一八	二五、九一九	一一、九六五	九一七、七五五	四六、二六四、五〇三
五	一	一三九、四一八	四、一七七	二、五二四、五一八	一〇九、五三〇、九〇八
四、四五三	七、二九五	二八、九二二	七八、二四六、五三、五八五、六五七	四二七、四六七	九、五八六、〇九四
				三、〇〇八、二四二、六二五	四六八、七五三、二二、二二二、三五九

府縣別	牛		馬		豚		緬羊		山羊		雞	
	總頭數	生産數	總頭數	生産數	總頭數	生産數	總頭數	生産數	總頭數	生産數	總羽數	産卵箇
北海道	四七、四六六	一四、三三二	二八、四九八	四五、九〇三	三五、六七六	三四、六七三	五、四九一	一、八二七	一九四	五二	一、九七九、六〇六	七三、四九六
青森縣	一一、二七三	二、四〇四	五三、五八三	五、八〇八	一一、七四七	一一、五六一	二七七	九六	一五三	九五	六二四、八四〇	二一、三〇〇
岩手縣	一四、九八三	四、五〇三	八七、二〇七	九、七八五	一七、〇五九	一八、五四八	二、〇六八	四五七	一、一〇九	三四〇	五八七、九二一	二二、三五五
宮城縣	五、五七六	五、三	五六、七三九	二、三二六	二〇、二六三	一三、〇一三	二、四五二	五九五	二八二	四八	七九三、五四四	三九、一六〇
秋田縣	三、六六九	九〇四	五九、九一七	四、七五九	六、八五五	六、二八八	四五二	六八	一一三	二〇	八二二、六七二	二四、六三三
山形縣	一〇、五〇〇	七六四	二九、七〇三	三二二	一一、一五七	七、四二二	一、五七七	二四九	八八五	一〇	五一一、四六九	二六、五五三
福島縣	四、一二二	七六四	八〇、一四〇	一〇、〇六八	一八、一七六	一三、七二六	三、一八〇	九六九	二五九	八八五	一一、一七一、九三一	六〇、四二二
茨城縣	一八、四二八	三三九	四五、一〇二	一、〇五三	五七、七〇八	三八、二一〇	一、三三	二二	七四二	二五九	一、二七一、九三二	一一、三、七八八
栃木縣	三、三九八	三三八	五〇、〇二八	二、〇五一	二一、七〇八	二一、六三七	六六九	一一〇	二八二	五八	一、〇〇八、三八八	六四、三六九
群馬縣	七、三〇八	九二二	三一、九五三	八八五	四五、八四一	四九、二二八	五二八	九五	四、〇六三	一、五〇〇	九七六、〇〇一	五九、九四五
埼玉縣	一四、三六七	五九六	一七、七三六	九	三五、四三二	二六、八〇二	五四	一	七二六	二三六	一、三四〇、二〇八	七八、八二四
千葉縣	三九、二四三	三、〇一七	二九、〇五六	九七	五四、二四九	四四、三四一	二二七	三三	一、一七六	二三四	二、四九六、三四四	一七〇、三七七
東京府	一五、〇三一	二、三〇〇	四、三五九	二	三三、三〇〇	二一、八〇九	八	四	五七六	一九七	一、〇〇七、〇五六	六三、〇〇六
神奈川縣	一四、四七四	一、二六八	五、七七四	一〇	四七、二四四	三五、〇四〇	五九	一	一、〇八四	二二八	九〇二、二〇五	五五、八〇八
新潟縣	三一、一五六	一、五四二	三〇、三九四	一七六	一八、七五五	一三、六三二	一七	一	六六九	二〇〇	一、一七三、〇〇〇	五二、六七七
富山縣	一、五一一	二二七	一〇、六四四	五七	四、〇六四	三、〇六七	一〇	一	一六二	六二	五、一五、五六六	二九、二六六
石川縣	五、七八二	一、〇五五	六、九四八	一九一	六、七九〇	四、四〇八	一〇	一	一四六	四一	四七三、八五二	二六、〇六六
福井縣	四、五四四	三三二	五、五〇二	五三	一、二七〇	一〇、〇八九	一四	一	二二二	四三	二五〇、九六八	一四、九五五
山梨縣	一、九六七	二九二	一五、二二六	二六三	六、五三九	三、八五二	一八	一	四三七	六六	三七四、二二五	二一、五七七
長野縣	六、九七八	七五三	三九、八九五	二、二二八	三五、八七八	二八、五三九	二二八	一六	一四、〇四九	六、二三四	一、六六一、八〇七	八五、六七七
岐阜縣	一一、五〇五	一、三一一	二五、二一一	一、〇三七	一八、五五六	一四、五八七	三九	八	一、四二七	一、四二七	一、〇五八、五〇八	四五、八九七
靜岡縣	一六、四三五	二、二二七	一四、四八四	三五	五二、四八一	三八、九〇四	四五	六	一、四二二	三九〇	二、〇五八、四六六	一五二、九八八
愛知縣	二〇、一五五	三、〇〇四	八、三三三	二六一	四五、八七五	四三、九一九	一八〇	一四	一、六五三	五六五	五、三四七、七〇六	四四〇、一五九
三重縣	三九、一四四	二、〇三九	三、〇八二	二	一七、三〇七	一三、一八〇	二五	五	三七八	一五五	一、一七五、六三七	七三、八六二
滋賀縣	二〇、一八七	五二五	一、一五五	二	二、三五三	一、二三九	一三	二	三八	七	七二七、四三五	三七、五九二
京都府	三三、四八一	四、九二六	一、五八五	一	五、六八七	三、二六三	二五	一	一〇〇	二九	九七八、四六九	四三、三九九
大阪府	三三、三六一	一、七七九	三、六五九	一	一〇、五九一	六、五六八	七	一	七三	九	一、三四八、二四九	九〇、一一一
兵庫縣	九八、八三二	一四、二七九	八、八八三	二〇三	九、一八七	六、七三三	二二	二	一〇〇	二九	一、七四四、四一七	九九、七六六
奈良縣	一六、五六五	四三七	六四六	一	一、五七四	七二二	一	一	一八七	二八	六五四、一六三	三三、四七五
和歌山縣	二八、二二二	一、八六〇	一、六一五	一	三、六九八	二、一二三	六九	一	四四	八	五二七、四二八	二六、八二二
鳥取縣	三七、一三六	一一、五九六	二、二二三	一	二、八五〇	二、二八六	五	一	一一三	三九	三三一、五六三	一六、七四二
島根縣	五九、〇二二	一一、八七〇	三、八六四	一四二	三、三九〇	二、二九七	三九	一	七六一	二七八	六八二、七四八	三八、八七七
岡山縣	八九、二六〇	一五、二九六	五、六八四	二四二	七、〇六三	五、三〇三	三九	一	一一五	五四九	一、二四七、七四二	七二、八八八
廣島縣	九六、五二七	一六、六〇六	七、八〇四	一九五	一二、六八四	一〇、八八八	一八五	三	一、〇六七	四二二	一、三〇〇、三二五	八七、四三三
山口縣	六三、三三四	七、二一九	一六、七四八	一一五	二、五三八	一、四〇二	二八	一	六〇〇	二〇六	八三一、六六五	六一、一七二
德島縣	三三、九一九	二、八九一	八、八三三	二三四	二、四六八	一、六七二	一五五	二〇	六六	二四	五六四、三五九	二五、〇六六
香川縣	三三、四〇三	二、六三七	一、〇〇八	四	一七、五二二	一、二九六	三三四	九二	一五四	四〇	九六五、九二八	六三、六四四
愛媛縣	四七、三四二	三、九二〇	六、四〇八	一二二	八、三九八	六、三九八	六五	二四	一、二六四	四四一	六七五、〇〇二	四七、三六
高知縣	二二、〇六四	二、二九三	一三、四六〇	六六九	二、八三八	一、九一九	六五	一	三、六七七	一、七八二	五二七、〇八〇	二六、七一
福岡縣	五五、五八七	四、二二六	三八、一八六	一四四	一一、一八六	六、四七五	一七	四	一、二五二	四七五	一、九九九、六四九	八九、二五
佐賀縣	二二、五〇一	一、八二八	一七、三六九	二九〇	三、九五九	二、一八五	二	三	五七九	一五五	七〇三、一四四	二九、二二三
長崎縣	六七、九〇一	一〇、八八九	一四、五三三	二、五七四	七、七六六	六、四〇三	二六五	一〇〇	八、一五九	四、三三九	八六八、五四三	三六、三三三
熊本縣	六五、六九二	一一、三九〇	六九、一五二	六、五三三	五、九三四	三、八六五	七六八	二六七	七五八	二九二	一、〇九七、〇七八	五五、二九
大分縣	七二、一八一	一七、八二五	三一、二〇四	一、三八四	六、一三六	五、五八二	三七	七	六八〇	二六一	八二八、六七五	四四、七〇
宮崎縣	二八、八九六	六、六八八	五八、四八三	六、九六三	一三、一四四	一〇、二〇三	二四	七	三三〇	一〇四	九一七、七五五	四六、二六
鹿兒島縣	一〇一、五〇三	二〇、八一三	七二、一五一	七、五三二	六一、三〇四	四〇、九七六	六七七	一一八	二五、九一九	一一、九六五	二、五二四、五一八	一〇九、五三三
沖繩縣	三、七四三	三、四三六	三九、五九一	二、六五九	一一八、九七六	四七、八一三	五	一	一三九、四一八	四五、一七七	四二七、四六七	九、五八
計	一、五二二、三五三	二二二、〇六九	一、四七七、二七一	一、七九九、九四四	九四七、二一六	六九〇、〇四七	二四、四五三	七、二九五	二二八、九二二	七八、二四六、五二	三、〇〇八、二四三	三、〇〇八、二四三

昭和六年末ニ於ケル全國府縣家畜頭數表

總頭數	生產數	馬		豚		羊		山羊		雞		
		總頭數	生產數	總頭數	生產數	總頭數	生產數	總頭數	生產數	總頭數	生產數	
四七、四六六	一四、三三一	二八九、四九八	四五、九〇二	三四、六七六	三四、六七三	五、四九一	一、八二七	一九四	五二	一、九七九、六〇六	七三、四九六、五九二	
一一、二七二	二、四〇四	五三、五八三	五、八〇八	一一、七四七	一一、五六一	二七七	九六	一五三	九五	六二四、八四〇	二一、三〇〇、三五五	
一四、九八三	四、五三三	八七、二〇七	九、七八五	一七、〇五九	一八、五四八	二、〇六八	四五七	一、〇九	五八七、九二一	二二、三三三、三〇一	四、二五〇	
五、五七六	五三	五六、七三九	二、三二六	二〇、二六三	一三、〇一三	二、四五一	五九五	二八二	八二二、六七二	三九、一六〇、四九六	一、五三三	
三、六六九	九〇四	五九、九一七	四、七五九	六、八五五	六、二八八	四五二	六八	二〇	五一一、四六九	二六、五五三、二六一	二、〇三七	
一〇、五〇〇	七六四	二九、七〇三	三二一	一一、一五七	七、四二二	一、五七七	二四九	八八五	一八〇	二〇、四六八	二六、五五三、二六一	
四、一一一	三三九	八〇、一四〇	一〇、〇六八	一八、一七六	一三、七二六	三、一八〇	九六九	二五九	一八〇	一、八二九、九六五	六四、三六九、五七五	
一八、四二八	七八〇	四五、一〇二	一、〇五三	五七、七〇八	三八、二一〇	一三三	二二	七四一	一八七	一、八二九、九六五	一一三、七八八、一三一	
三、三九八	三二八	五〇、〇二八	二、〇五一	二二、七〇八	一二、六三七	六六九	一一〇	五二	一、一七一、九三一	六四、三六九、五七五	三、三五二	
七、三〇八	九二二	三一、九五三	八八五	四五、八四一	四九、二二八	五二八	九五	四、〇六三	九七六、〇〇一	七八、八一四、〇四五	一、〇四三	
一四、三八七	五九六	一七、七三六	九	三五、四三三	二六、八〇二	五四	一	二二六	一、三四〇、一〇八	七八、八一四、〇四五	一六、三四八	
三九、二四三	三、〇一七	二九、〇五六	九七	五四、二四九	四四、三四一	二二七	三三	一、五〇〇	九七六、〇〇一	一七〇、三七〇、三三〇	二五、一七六	
一五、〇三二	二、三二〇	四、三五九	二	三二、三〇〇	二一、八〇九	八	四	七二六	一、〇七七、〇五六	六三、〇〇六、七七二	七、三七七	
一四、四七四	一、二六八	五、七七四	一〇	三三、〇四〇	三三、〇四〇	五九	一	一、〇八四	九〇二、二〇五	五五、八〇八、七七六	二二、六五四	
三一、一五六	一、五四二	三〇、三九四	一七六	一八、七五五	一三、六三二	一七	一	六六九	一、一七三、〇〇〇	二九、二六五、〇九五	一、〇一八	
一、五三三	二二七	一〇、六四四	五七	四、〇六四	三、〇六七	一〇	一	一六二	五、五五六	二六、〇六三、六〇二	二、一四〇	
五、七八二	一、〇五五	六、九四八	一九一	六、七六〇	四、四〇八	一〇	一	四一	四七三、八五二	二六、〇六三、六〇二	二、一四〇	
四、五四四	三三二	五、五〇二	五三	一、二七〇	一〇、〇八九	一四	一	二二二	二五〇、九六八	一四、九五八、二二五	四六二	
一、九六七	二九二	一五、二二六	二六三	六、五三九	三、八五三	一八	一	一六二	五、五五六	二九、二六五、〇九五	一、〇一八	
六、九七八	七五二	三九、八九五	二、二二八	三三、八七八	二八、五三九	二二八	一六	四三七	三、七四二、二二五	二二、五二七、九七八	六四一	
一一、五〇五	一、三一一	二五、二二一	一、〇三七	一八、五五六	一四、五八七	二二八	一六	一四、〇四九	一、六六一、八〇七	八五、六七九、二二二	三、〇一四	
一六、四三五	二、二二七	一四、四八四	三五	五二、四八一	三八、九〇四	四五	六	一、四二二	一、〇五八、五〇八	四五、八九六、一六八	三、一八三	
三九、一四四	二、〇三九	三、〇八二	二	一七、三〇七	四三、九一九	一八〇	一四	三九〇	二、〇五八、四六六	一五二、九八八、六九三	二、〇〇二	
一〇、一八七	五五	一、一五五	二	二、三五三	一三、一八〇	二五	五	三七八	一、一七五、六三七	七三、八六三、七七七	二、五三三	
三三、四八一	四、九二六	一、五八五	一	五、六八七	三、二六三	二五	一	一〇〇	七二七、四三五	三三、五九二、〇八〇	八、七三九	
三五、三六一	一、七七九	三、六五九	一	一〇、五九一	六、五六八	七	一	一〇〇	九七八、四六九	四三、三九八、三一一	一四、六三〇	
九八、八三二	一四、二七九	八、八八三	二〇二	九、一八七	六、七三三	二二	二	五三	一、三四八、二四九	九〇、一一二、二四八	五九、一八二	
一六、五六五	四三七	一、六五	一	一、五七四	七、三	一	二	一八七	一、七四四、四一七	九九、七六〇、二三八	四〇、七五九	
二八、二三一	一、八六〇	一、六五	一	三、六九八	二、一三三	六九	二	四四	六五四、一六三	三三、四七四、六七二	四、一〇六	
三七、一三六	一一、五九六	二、二三三	一	二、八五〇	二、八二六	五	二	一三	五、一七四、二二〇	二六、八二八、二二〇	一、二六六	
五九、〇二一	一一、二七〇	三、八六四	一四二	二、二九七	二、二九七	三九	二	三九	三三二、五六三	一六、七四八、二八四	一、二六六	
八九、二六〇	一五、二九六	五、六八四	二四二	七、〇六三	五、三〇三	三九	二	二七	一、二四七、七四二	三三、八七四、四八七	三、四九五	
九六、五二七	一六、六〇六	七、八〇四	一九五	二、六八四	一〇、八八八	一八五	一	二八	一、三〇〇、三一五	七二、八八九、五八二	四、七七七	
六三、三三四	七、一一九	一六、七四八	一一五	二、五三八	一、四〇二	二八	一	二四	八三一、六六五	二六、七四八、二八四	一、二六六	
三三、九一九	二、八九一	八、八三二	二三四	一、四〇二	一、四〇二	一五五	一	二四	五五四、三五九	六三、六四九、七三五	一、八六八	
三五、四〇三	二、六三七	一、〇〇八	四	一、七五二	一、二九六	三七四	二	四〇	九六五、九二八	四七、三六八、四三一	三、二七一	
四七、三四二	三、九二〇	六、四〇八	一一一	八、三九八	六、三九八	六五	一	四四	六七五、四〇二	四七、三六八、四三一	三、二七一	
二二、〇六四	二、二九三	一三、四六〇	六六九	二、八三八	一、九一九	五	一	四七五	一、九九九、六四九	八九、二五二、二五〇	四〇、七三四	
五五、五八七	四、二二六	三八、一八六	一四四	一、一八六	六、四七五	一七	四	一五五	七〇三、一四四	二九、二九九、九六〇	八、〇二五	
二二、五〇一	一、八二八	一七、三六九	二九〇	三、九五九	二、一八五	二	三	二	一、二五三	二六、七一九、五二二	一七、二二二	
六七、九〇一	一〇、八八九	一四、五三二	二、五七四	七、七六六	六、四〇三	二六五	一〇〇	四、三三九	一、〇九七、〇七八	五五、二九九、七〇六	二二、〇八〇	
六五、六九二	一一、三九〇	六九、一五二	六、五三三	五、九三四	三、八六五	七六八	二六七	二九二	二六二	八二八、六七五	六、五三九	
七、一八一	一七、八二五	三一、二〇四	一、三三四	六、一三六	五、五八二	三七	七	七五八	六八〇	九一七、七五五	四四、七〇一、六七四	
二八、八九六	六、六八八	五八、四八三	六、九六三	一、三三四	一〇、二〇三	二二四	七	二六一	二、五四、五一一	四四、七〇一、六七四	六、五三九	
一〇、五〇三	二〇、八三三	七七、一五一	七、五三二	四〇、九七六	四〇、九七六	六七七	一八	一〇四	九一七、七五五	四六、二六四、五〇三	四、七九三	
三、七四三	三、四三六	三七、五九一	二、六五九	一一八、九七六	四七、八一三	五	一	二五〇	一〇九、五三〇、九〇八	二二、七三四	二、七三四	
五二、三五二	一一、四七七、二七一	二、九四九	九四七、二六	六九〇、〇四七	二四、四五三	七、二九五	二二八、九二二	四五、一七七	一三九、四一八	九、五八六、〇九四	二二、一五四	
											四六八、七五三、二二二	四二、一八九
												四二、一八九

第三七表

道府縣主要家畜割合表

(昭和六年末調)

道府縣別	人口百人ニ對スル				農家百戸ニ對スル				耕地面積百町歩ニ對スル			
	牛	馬	豚	鶏	牛	馬	豚	鶏	牛	馬	豚	鶏
北海道	一、六五	一〇、〇八	一、二四	六八、九〇	二四、七一	一五、〇七	一八、五七一	〇、三〇、五二	一五、四五	三三、二二	四、〇九	二二七、一三
青森縣	一、二六	六、〇〇	一、四三	六九、九八	一三、一六	六二、五四	一四、八八	七二九、三三	八、六三	四一、〇三	九、七六	四七八、五一
岩手縣	一、五一	八、八一	一、七二	五九、三七	一、四〇九	八二、〇四	一六、〇五	五五三、〇七	一〇、七〇	六二、二七	一一、一八	四一九、八三
宮城縣	〇、四八	四、八八	一、七四	六八、二九	五、四六	五五、五四	一九、八四	七七六、七七	四、〇〇	四〇、二三	一四、三七	五六二、六五
秋田縣	〇、三七	六、〇一	〇、六九	八二、四六	三、九六	六四、七四	七、四一	八八八、九三	二、五五	三二、七一	四、七七	五七三、七二
山形縣	〇、九六	二、七二	一、〇三	四六、九一	一〇、六〇	二九、九八	一一、二六	五五六、二九	七、四三	二一、〇二	七、九〇	三六一、九六
福島縣	〇、二七	五、二七	一、一九	七七、〇〇	二、九六	五七、六〇	一三、〇六	八四三、三九	二、一六	四二、〇二	九、五三	六四七、〇八
茨城縣	一、二三	三、〇〇	三、八四	二二、八一	九、八八	二四、一八	三〇、九四	九八一、一〇	八、五三	二〇、八八	二六、七一	八四七、〇八
栃木縣	〇、二六	四、三五	一、八八	八七、五六	三、一七	四六、六二	二〇、二三	九三九、六七	二、三六	三四、八〇	一五、一〇	七〇一、五二
群馬縣	〇、六三	二、六六	三、八二	八一、三九	六、一九	二七、〇六	三八、八二	八二六、五七	六、四一	二八、〇二	四〇、一九	八五五、七三
埼玉縣	〇、九八	一、二二	二、四一	九一、〇六	八、四〇	一〇、三五	二〇、六八	七八二、二六	八、八二	一〇、八八	二一、七三	八二一、九八
千葉縣	二、六四	一、九六	三、六六	二六、二三	二四、六三	一八、二三	三四、〇四	五六六、四六	二〇、四七	一五、一六	二八、三〇	三〇二、三八
東京府	〇、二七	〇、七八	〇、五八	一八、〇二	二五、一二	七、二九	五四、〇二	六八四、一一	二九、六五	八、六〇	六三、七五	九八七、五〇
神奈川縣	〇、八七	〇、三五	二、八五	五四、三八	一八、六五	七、四四	六〇、八六	六二二、二五	二〇、七三	八、二七	六七、六五	二九一、九〇
新潟縣	一、六〇	一、五六	〇、九六	六〇、一七	一五、一八	一四、八一	九、一四	五七一、五〇	一二、八八	一二、五六	七、七五	四八四、八五

廣島縣	山口縣	德島縣	香川縣	愛媛縣	高知縣	福岡縣	佐賀縣	長崎縣	熊本縣	大分縣	宮崎縣	鹿兒島縣	沖繩縣	平均	最高	最低
五、六六	五、五四	四、七〇	四、七九	四、一一	三、〇八	二、一六	三、三九	五、四五	四、八一	七、四八	三、七三	六、四五	五、四六	二、三一	七、九五	〇、二〇
〇、四六	一、四六	一、二二	〇、四九	〇、五六	一、八六	一、四九	三、一四	一、一七	五、〇六	三、二〇	七、五六	四、九〇	六、八一	二、二六	一〇、〇八	〇、一〇
〇、七四	〇、三三	〇、三三	二、三七	〇、七三	〇、三九	〇、四四	〇、五七	〇、六二	四、二一	〇、六四	一、六九	三、九〇	二、〇四	一、四五	二〇、四六	〇、二二
七六、一九	七二、七二	七八、二〇	三三〇、六八	五八、六八	七二、四一	七七、七八	一〇一、四八	六九、六六	八〇、三五	八七、〇七	一六九、五七	一六〇、四八	七三、五二	八〇、四五	二〇、四四	一八、二〇
五〇、一八	五〇、六三	四二、一九	三八、一六	三六、一九	二八、七七	三七、〇九	三四、七九	六三、四四	四六、〇八	五七、一六	三五、五九	四六、六一	三四、五二	二六、八四	六三、四四	一、九六
四、〇六	一三、三九	一〇、九九	一、一四	四、九〇	一六、七九	二五、四八	二五、七一	一三、五八	四八、五一	二五、〇六	七二、七四	三五、四三	四三、〇五	二六、二二	八二、〇四	一、〇〇
六、五九	二、〇二	三、〇七	一九、八六	六、四二	三、五四	七、四六	五、八六	七、二六	四、一六	四、九三	一六、三一	二八、一五	二九、三七	一六、八一	二九、三七	一、七八
六七五、九二	六六四、七七	七〇一、八六	〇九五、六九	六四五、〇〇	六四五、〇〇	〇四〇、八九	八二、四九	七六、九三	七六、九三	六六五、四九	一四一、六七	一五九、三三	四六四、八〇	九三三、四〇	二七〇、六三	三五、九二
八七、三五	五八、九三	六四、四四	六九、五一	五二、五二	三四、四四	三八、七〇	三二、九五	七七、三二	四二、一一	七七、三〇	三〇、八一	五五、四一	五二、九七	二五、五六	八七、三五	一、六六
七、〇六	一五、五八	一六、七八	一、九八	七、一一	二〇、一〇	二六、五八	二四、三六	一六、五四	四四、三三	三三、八九	六二、七七	四二、一一	六六、〇七	二四、九七	六六、〇七	一、四三
一一、四八一	二、三六	四、六九	三、八一	九、三二	四、二四	七、七九	五、五五	八、八四	三、八〇	六、六六	一四、〇七	三三、四七	一九八、五五	一六、〇〇	一九八、五五	二、〇四
一一、七六、七〇	七七三、七八	四、六九一	〇七二、一七	七四九、二二	三九二、一四	三九二、一四	九八五、九六	九八九、〇七	七〇三、二六	八九九、九一	八九四、九八	三七八、一九	七八三、三八	八八八、八七	二七〇、五五	二二、一三

富山縣	石川縣	福井縣	山梨縣	長野縣	岐阜縣	靜岡縣	愛知縣	三重縣	滋賀縣	京都府	大阪府	兵庫縣	奈良縣	和歌山縣	鳥取縣	島根縣	岡山縣
〇、二〇	〇、七六	〇、七三	〇、三一	〇、四二	〇、九七	〇、九〇	〇、七七	三、三五	二、九〇	二、〇五	〇、九七	三、六八	二、七七	三、三六	七、五四	七、九五	六、九〇
一、三七	〇、九三	〇、八八	二、三九	二、三〇	二、一二	〇、七九	〇、三三	〇、二六	〇、一七	〇、一〇	〇、一〇	〇、三三	〇、一一	〇、一九	〇、四五	〇、五二	〇、四四
〇、五二	〇、八九	〇、一〇	一、〇三	二、〇七	一、一〇	二、八八	一、七五	一、四八	〇、三四	〇、三六	〇、二九	〇、三四	〇、二六	〇、四四	〇、五八	〇、四六	〇、五五
六五、七〇	六二、五一	四〇、三四	五八、七六	九五、八三	八九、一五	八二、九五	二〇四、四五	一〇〇、七三	一〇四、三三	六一、八八	三七、一一	六五、〇〇	二〇九、二八	六一、六六	六五、二八	九一、九二	九六、五一
一、九六	七、〇七	六、三七	二、三七	三、三九	八、二六	一〇、〇二	三二、九四	二二、三八	四〇、四二	四一、七二	五三、八一	三五、六七	二五、五三	三五、六七	六三、一三	五五、〇八	五五、三六
一三、八〇	九、六八	七、七一	一八、三六	一九、三六	一八、一〇	八、八二	三、二二	二、五二	一、二八	一、九七	四、三二	四、八四	一、〇〇	二、〇四	三、八〇	三、六一	三、五三
五、二七	八、二七	一、七八	七、八九	一七、四二	一三、三三	三二、九九	二二、二二	一四、一二	二、六一	七、〇八一	一二、四九	五、〇〇	二、四三	四、六七	四、八五	三、一六	四、三八
六六八、五五	五七九、五九	三五、九二	四五一、二九	八〇六、六四	七五九、七九	二五四、七四	九五六、三八	八〇六、四四	九五九、六三	二二七、五八	九五〇、六三	九四九、八五	〇二八、〇〇	六五三、七一	五四六、六八	六三七、一六	七七三、九二
一、六六	七、九六	七、三〇	四、〇九	一一、一八	一一、四一	一二、三三	三七、五六	二〇、七七	五四、〇八	五八、七七	七四、九八	三六、六四	五、七一九	七二、六二	六七、一七	七一、〇〇	七一、〇〇
一一、六八	九、五六	八、三三	二、八九	二四、五六	二四、五〇	一〇、九四	二、九六	一、四六	二、六四	六、〇八	六、七四	一、四三	三、二七	四、三七	四、六六	四、五二	四、五二
四、四六	九、三〇	二、〇四	一一、〇一	一八、〇三	三九、六四	二八、〇六	一六、六一	一、六二	三、〇〇	九、四七	一七、六二	三、四六	七、四九	五、五七	四、〇九	五、六二	五、六二
五六五、八五	六五二、一八	四〇二、九六	七二〇、〇三	九七二、九三	一〇二、八八	五五四、九四	二七〇、五五	二二八、〇〇	九一八、四三	六二九、二二	四四六、九八	三、四六一	四四六、九八	六二八、八〇	八二三、三〇	九九二、四五	九九二、四五

昭和九年四月二十五日印刷

昭和九年四月二十八日發行

神奈川縣內務部

印刷人 川上久次

電話藤澤一〇六番

神奈川縣藤澤町藤澤七六三番地

印刷所 三光堂印刷所

電話藤澤一〇六番  
振替口座東京五八〇三九番

—【非賣品】—

